

「多古町総合計画」

「多古町総合戦略」

策定に関するアンケート調査結果

令和6年11月

多古町

目次

第1章 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の実施概要	1
3. 回収状況	1
4. 調査結果の見方	2
第2章 アンケート調査結果	3
1. 回答者の属性について	3
2. 多古町の暮らしやすさ・居住意向について	6
3. 多古町に対する愛着や将来のまちの方向性について	8
4. 働く場所や環境について	12
5. 結婚や妊娠・出産・子育てについて	16
6. 男女共同参画社会について	20
7. 情報発信について	24
8. 幸福度（Well-Being）について	28
9. まちづくり全般について	31

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

「多古町総合計画後期基本計画（多古町総合戦略と一体型）」の策定にあたり、社会移動（転入・転出）、雇用、結婚・出産・子育て等や、まちづくり全般に対する意向や考えを把握し、計画策定のための基礎資料とすることを目的に調査を行いました。

2. 調査の実施概要

本調査の実施概要は次の通りです。

調査の対象	調査期間	実施方法
16歳以上の方 2,000人 無作為抽出	令和6年 8月下旬～9月下旬	郵送での配布・回収 (調査票に二次元コードを記載し、 WEBでの回答も可とした)

3. 回収状況

回収の状況は次の通りです。

配布数	回収数	回収率
2,000票	●全体 714票	35.7% (参考：前回39.8%)
	●紙での回答 555票 (77.7%)	
	●WEBでの回答 159票 (22.3%)	
	年代別WEB回答割合	年代別回収率
	10歳代 50.0%	10歳代 22.2%
	20歳代 40.0%	20歳代 19.3%
	30歳代 43.9%	30歳代 23.8%
	40歳代 45.6%	40歳代 27.0%
	50歳代 34.7%	50歳代 34.7%
	60歳代 14.9%	60歳代 40.4%
	70歳以上 3.4%	70歳以上 52.6%

アンケートの標本誤差について

調査対象母集団規模に対して、信頼度95%の条件（仮に同じアンケートを100回実施した場合、95回は同様の結果を得るということ）の下で、今回の回収数（標本数）での標本誤差（母集団での結果と標本から得られる結果の値の差）について検証してみると、最大標本誤差は±3.6（どの設問についても3.6%以内の誤差に収まっているということ）となっている。
※標本誤差は一般に、「±5.0%未満」で優位性が担保される。

4. 調査結果の見方

- ◇各設問の設問文やカテゴリー（選択肢）等について、その意味を損なわない程度に表現を簡略化している場合があります。
- ◇タイトルの横には、質問形態を記載しています。

（単数回答）：「1つに○」など選択肢を1つ選ぶ質問形態

（複数回答）：「あてはまる番号すべてに○」など2つ以上の選択を選ぶ質問形態

（数量回答）：日数や時間、回数などの数値・数量を記入する質問形態

（自由記述）：文字記述回答

- ◇設問に対し回答する方が限られる場合は、質問形態の横に、回答する方を限定する内容を記載しています。（例【就労者限定】：働いていると回答した方のみが回答した設問）
- ◇各設問において、単純集計グラフと必要に応じて属性等別のクロス集計表を記載しています。
- ◇クロス集計表は、上段が回答件数（票数）、下段が割合を示しています。また、トップ1項目のセルに【】で着色しています。
- ◇設問によって、前回調査（令和元年度に実施した調査）との比較を記載しています。
- ◇各グラフの“n”は、当該設問に回答すべき方（回答対象者）の人数を示しています。
- ◇集計結果のグラフ・表における“無回答”は、当該設問への無回答の他、回答規則違反（例えば、単数回答の設問における複数回答など）の件数（票数）を示しています。
- ◇“非該当”は、その設問の回答者に該当しない件数（票数）を示しています。
- ◇数表やグラフにおいては、原則として各集計数の総回答対象者数に対する比率を表示しています。
- ◇集計は、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合や、合計と内訳が合わない場合があります。

第2章 アンケート調査結果

1. 回答者の属性について

回答者の属性としては、「男性」が44.5%、「女性」が52.2%となっており、年齢としては「70歳以上」、居住地区としては「多古地区」が最も多くなっている。

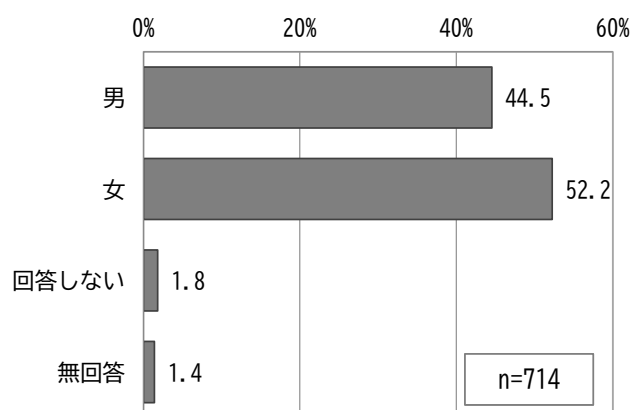
職業としては、「会社員、公務員等」が最も多くなっている。また、農業関与の有無については「農業に関わったことがない」方が前回調査の44.2%から増加し45.9%となっている。

居住経験としては「多古町以外の出身で、多古町に転入してきた」が39.4%と最も多く、「生まれたときからずっと多古町に住んでいる」の33.1%を6.3ポイント上回っている。

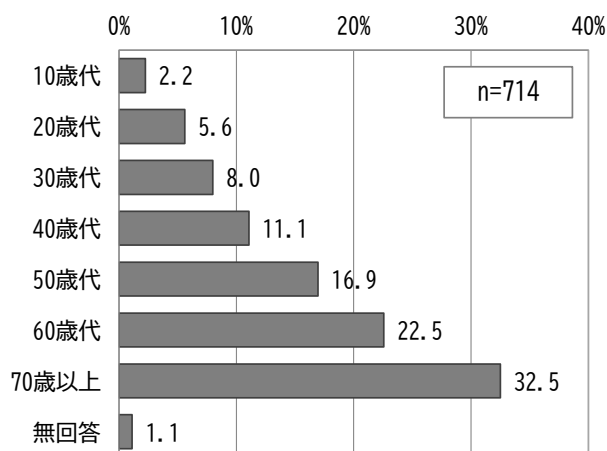
家族構成としては、「二世帯同居」が最も多くなっている。

同居家族としては、「65歳以上の高齢者」がいる方が最も多くなっている。

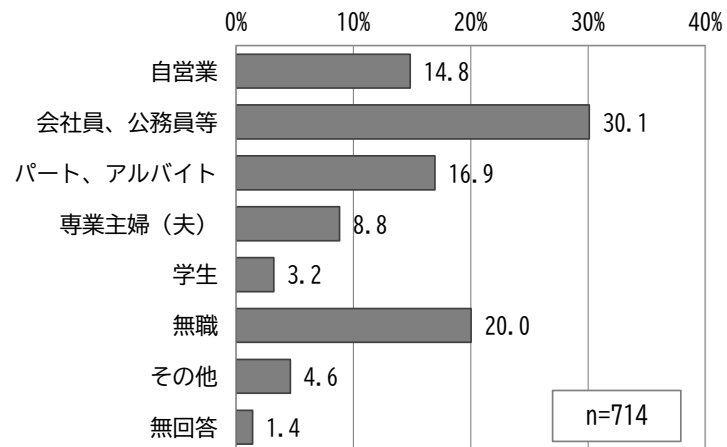
①性別



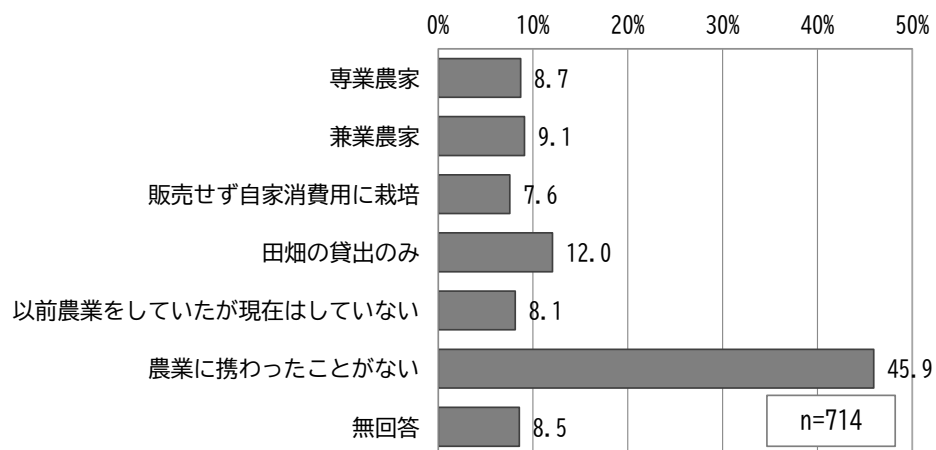
②年代



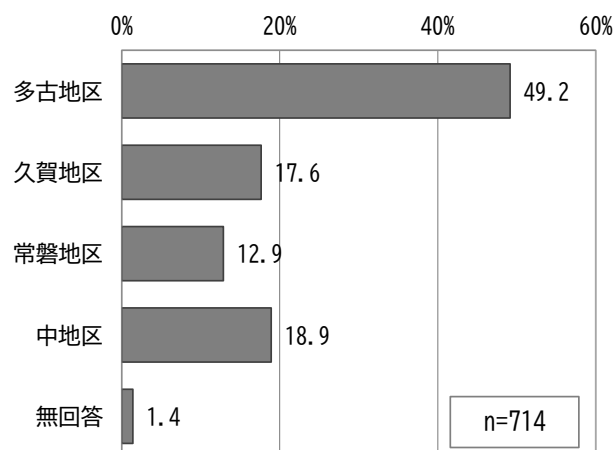
③職業



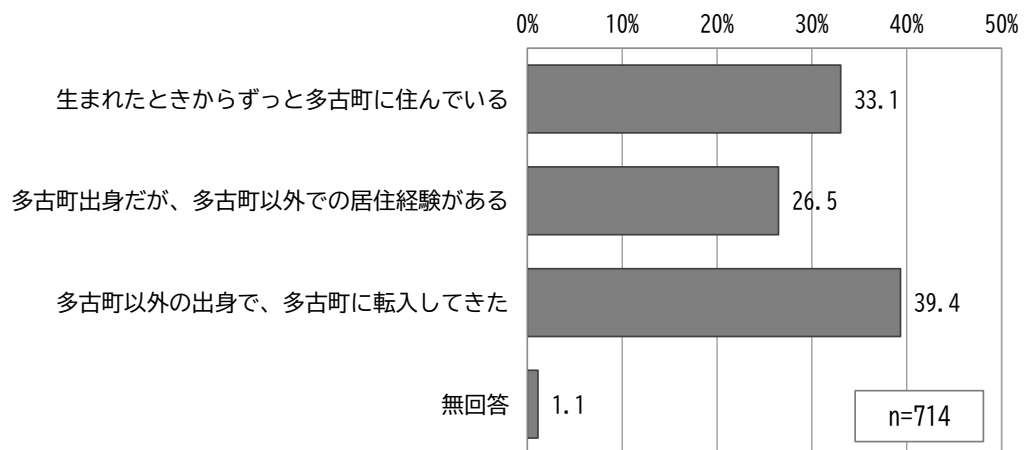
④農業関与



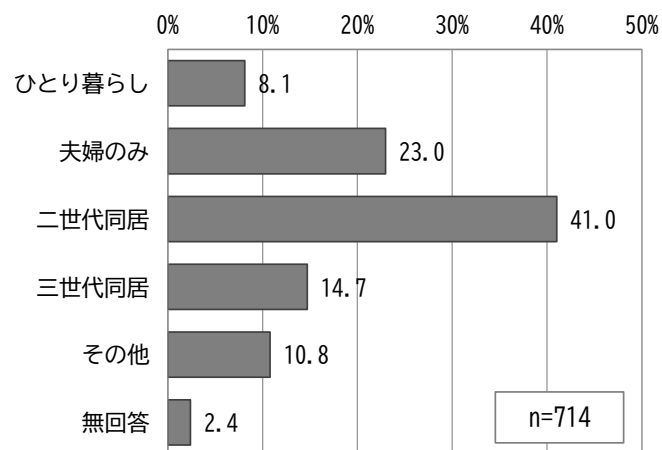
⑤居住地区



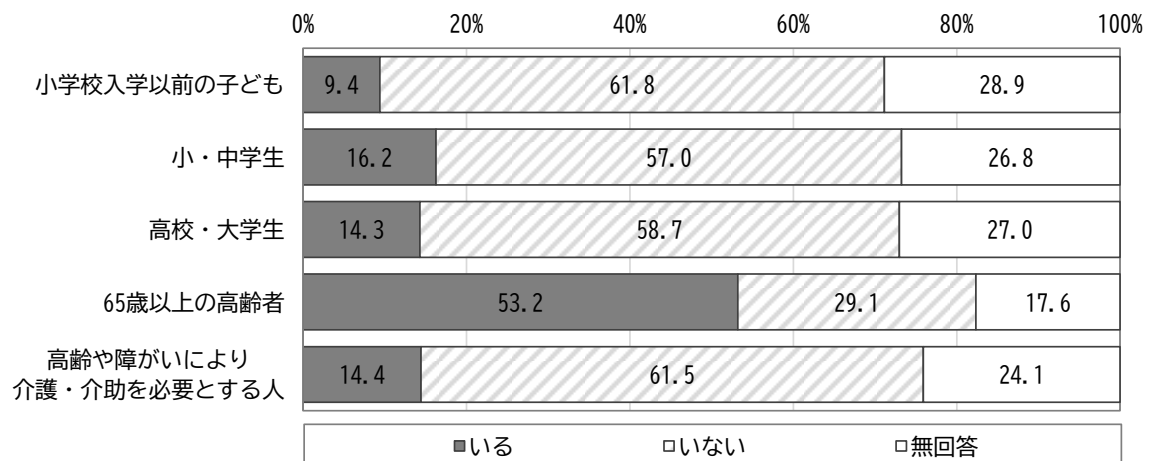
⑥居住経験



⑦家族構成



⑧同居家族

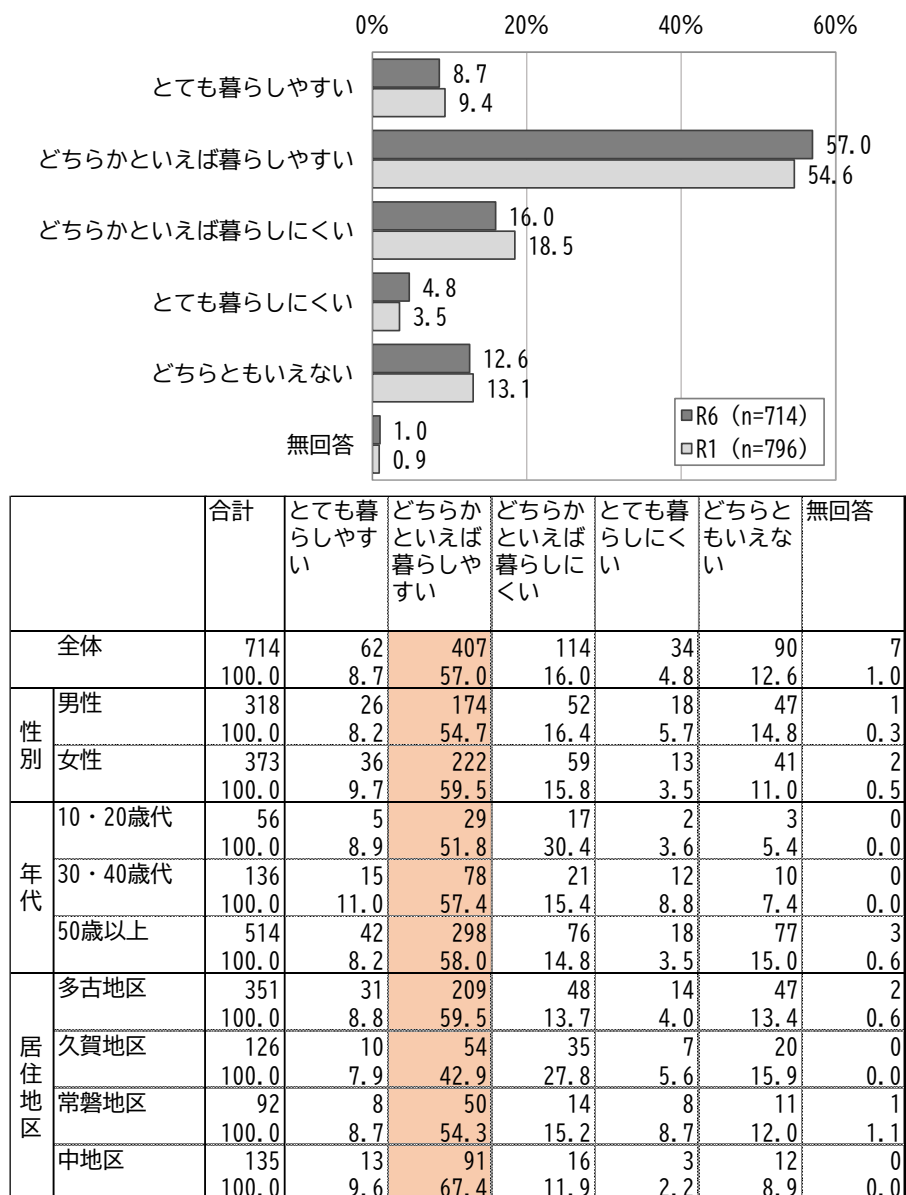


2. 多古町の暮らしやすさ・居留意向について

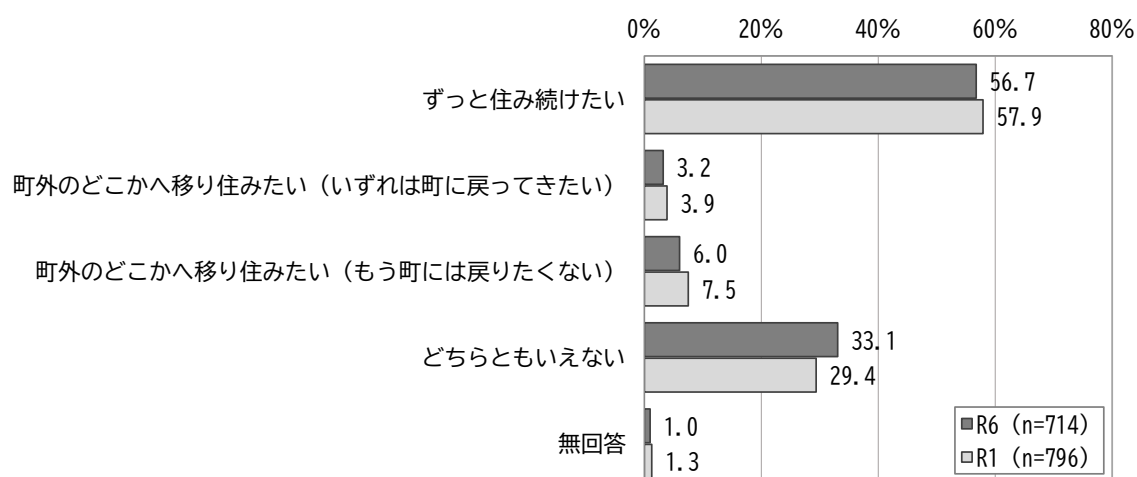
多古町が『暮らしやすい』と回答した方は、全体の65.7%と半数以上を占めており、前回調査の64.0%からも増加となっている。しかし、年齢別にみると、10・20歳代では『暮らしやすい』と感じている方は60.7%と、全体と比べ低くなっている。

多古町での定住意向について伺うと、『ずっと住みたい』が56.7%と、こちらも半数以上となっている。定住意向についても年齢別にみると、10・20歳代では『ずっと住みたい』は39.3%、30・40歳代では『ずっと住みたい』は41.2%と、全体と比べ低くなっている。また、30・40歳代では『どちらともいえない』が48.5%と半数近くを占めているため、そういった方の定住意向を高めることで人口減少抑制につながる可能性が考えられる。

【問1】あなたにとって、多古町は暮らしやすいですか。(単数回答)



【問2】あなたは、これからも多古町に住み続けたいと思いますか。(単数回答)



		合計	ずっと住み続けたい	町外のどこかへ移り住みたい（いずれは町に戻ってきたい）	町外のどこかへ移り住みたい（もう町には戻りたくない）	どちらともいえない	無回答
全体		714 100.0	405 56.7	23 3.2	43 6.0	236 33.1	7 1.0
性別	男性	318 100.0	191 60.1	10 3.1	20 6.3	96 30.2	1 0.3
	女性	373 100.0	206 55.2	13 3.5	20 5.4	133 35.7	1 0.3
年代	10・20歳代	56 100.0	22 39.3	12 21.4	7 12.5	15 26.8	0 0.0
	30・40歳代	136 100.0	56 41.2	5 3.7	9 6.6	66 48.5	0 0.0
	50歳以上	514 100.0	325 63.2	6 1.2	25 4.9	155 30.2	3 0.6
居住地区	多古地区	351 100.0	197 56.1	10 2.8	20 5.7	124 35.3	0 0.0
	久賀地区	126 100.0	65 51.6	5 4.0	9 7.1	47 37.3	0 0.0
	常磐地区	92 100.0	54 58.7	4 4.3	8 8.7	24 26.1	2 2.2
	中地区	135 100.0	87 64.4	4 3.0	4 3.0	39 28.9	1 0.7

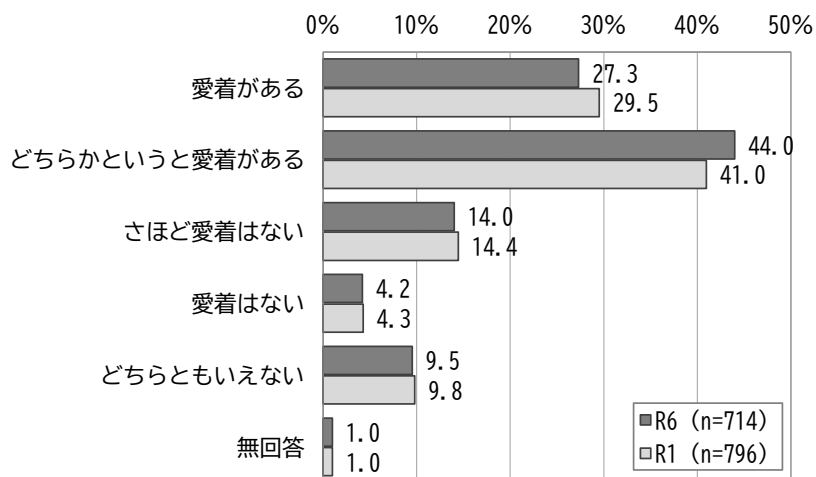
3. 多古町に対する愛着や将来のまちの方向性について

多古町への愛着度を伺うと、71.3%の方が『愛着がある』と回答している。また、年齢別にみても 10・20歳代の76.8%が最も高く、50歳以上の71.2%が最も低くなっており、暮らしやすさや定住意向とは異なり、若年層の方がまちへの愛着があるという結果となった。

まちづくりの方向性として、「住宅・公共交通などが整備された通勤通学しやすいまち」が60.4%と最も多くなっている。また、年齢別にみても 10・20歳代が80.4%と、全体と比べ高くなっている。

まちづくりへの満足度と重要度について伺うと、「子育て支援、多古町で子育てしたいと思える環境づくり」の満足度・重要度が共に高くなっている。一方、「公共交通の利便性確保、町内外へのアクセス向上」の重要度は高いにもかかわらず、満足度は低くなっている。

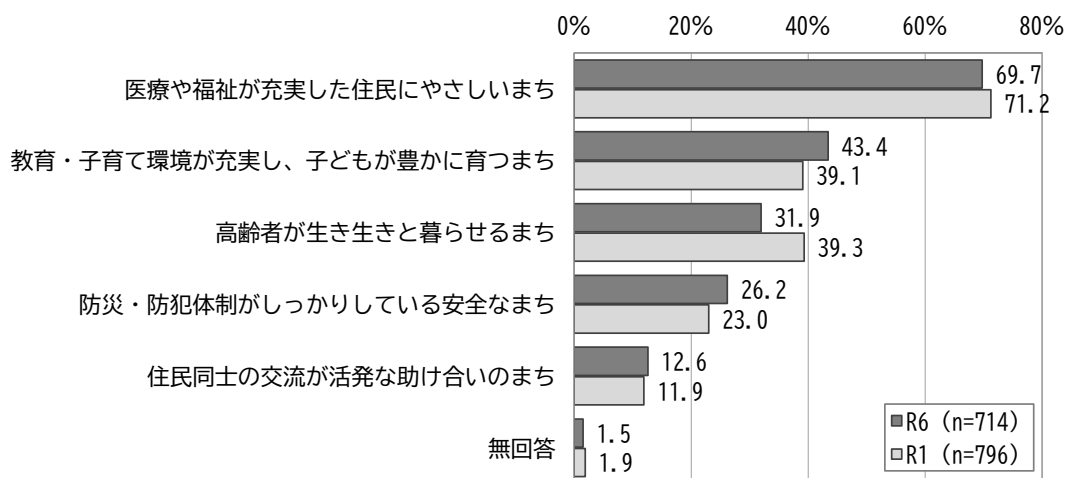
【問3】あなたは多古町に「自分たちのまち」としての愛着、魅力を感じていますか。(単数回答)



	合計	愛着がある	どちらかというとな愛着がある	さほど愛着はない	愛着はない	どちらともいえない	無回答
全体	714	195	314	100	30	68	7
	100.0	27.3	44.0	14.0	4.2	9.5	1.0
性別							
男性	318	106	127	45	15	23	2
	100.0	33.3	39.9	14.2	4.7	7.2	0.6
女性	373	86	178	52	12	44	1
	100.0	23.1	47.7	13.9	3.2	11.8	0.3
年代							
10・20歳代	56	10	33	9	1	3	0
	100.0	17.9	58.9	16.1	1.8	5.4	0.0
30・40歳代	136	31	67	21	9	7	1
	100.0	22.8	49.3	15.4	6.6	5.1	0.7
50歳以上	514	153	213	70	18	58	2
	100.0	29.8	41.4	13.6	3.5	11.3	0.4
居住地区							
多古地区	351	102	156	45	16	31	1
	100.0	29.1	44.4	12.8	4.6	8.8	0.3
久賀地区	126	28	44	24	9	20	1
	100.0	22.2	34.9	19.0	7.1	15.9	0.8
常磐地区	92	29	39	12	3	8	1
	100.0	31.5	42.4	13.0	3.3	8.7	1.1
中地区	135	36	72	19	0	8	0
	100.0	26.7	53.3	14.1	0.0	5.9	0.0

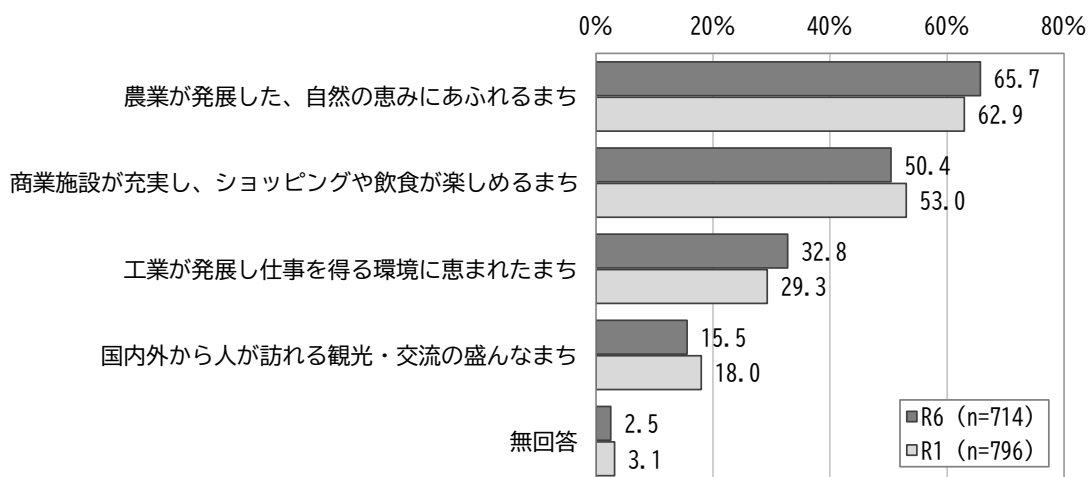
【問4】それぞれの項目に関して、示された選択肢のうち、あなたは将来、多古町がどのようなまちになるのいいと思いますか。（複数回答）

■生活環境



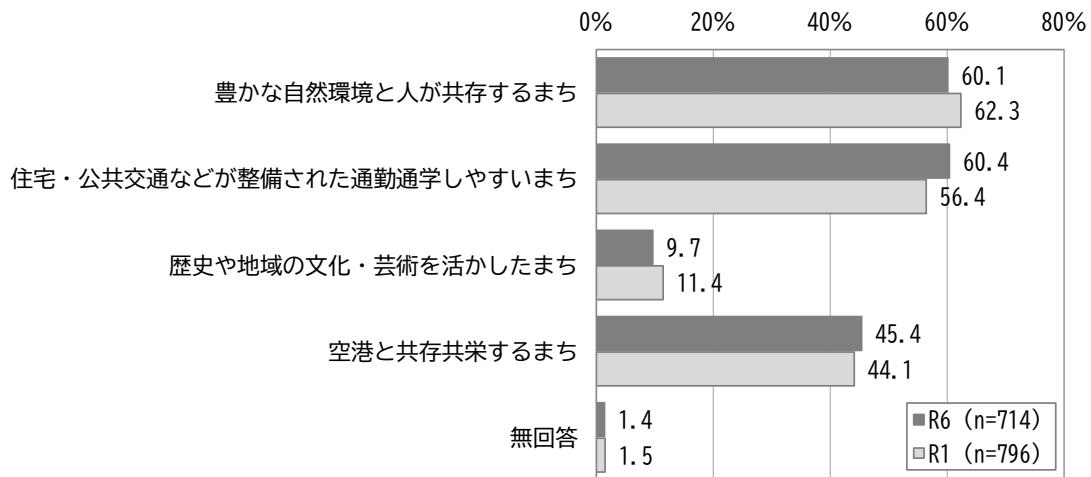
	合計	医療や福祉が充実した住民にやさしいまち	教育・子育て環境が充実し、子どもが豊かに育つまち	高齢者が生き生きと暮らせるまち	防災・防犯体制がしっかりしている安全なまち	住民同士の交流が活発な助け合いのまち	無回答
全体	714	498	310	228	187	90	11
	100.0	69.7	43.4	31.9	26.2	12.6	1.5
性別							
男性	318	215	149	98	71	48	5
	100.0	67.6	46.9	30.8	22.3	15.1	1.6
女性	373	270	151	123	114	39	2
	100.0	72.4	40.5	33.0	30.6	10.5	0.5
年代							
10・20歳代	56	40	42	5	11	4	0
	100.0	71.4	75.0	8.9	19.6	7.1	0.0
30・40歳代	136	88	90	25	30	17	2
	100.0	64.7	66.2	18.4	22.1	12.5	1.5
50歳以上	514	369	174	197	145	69	5
	100.0	71.8	33.9	38.3	28.2	13.4	1.0

■まちの産業



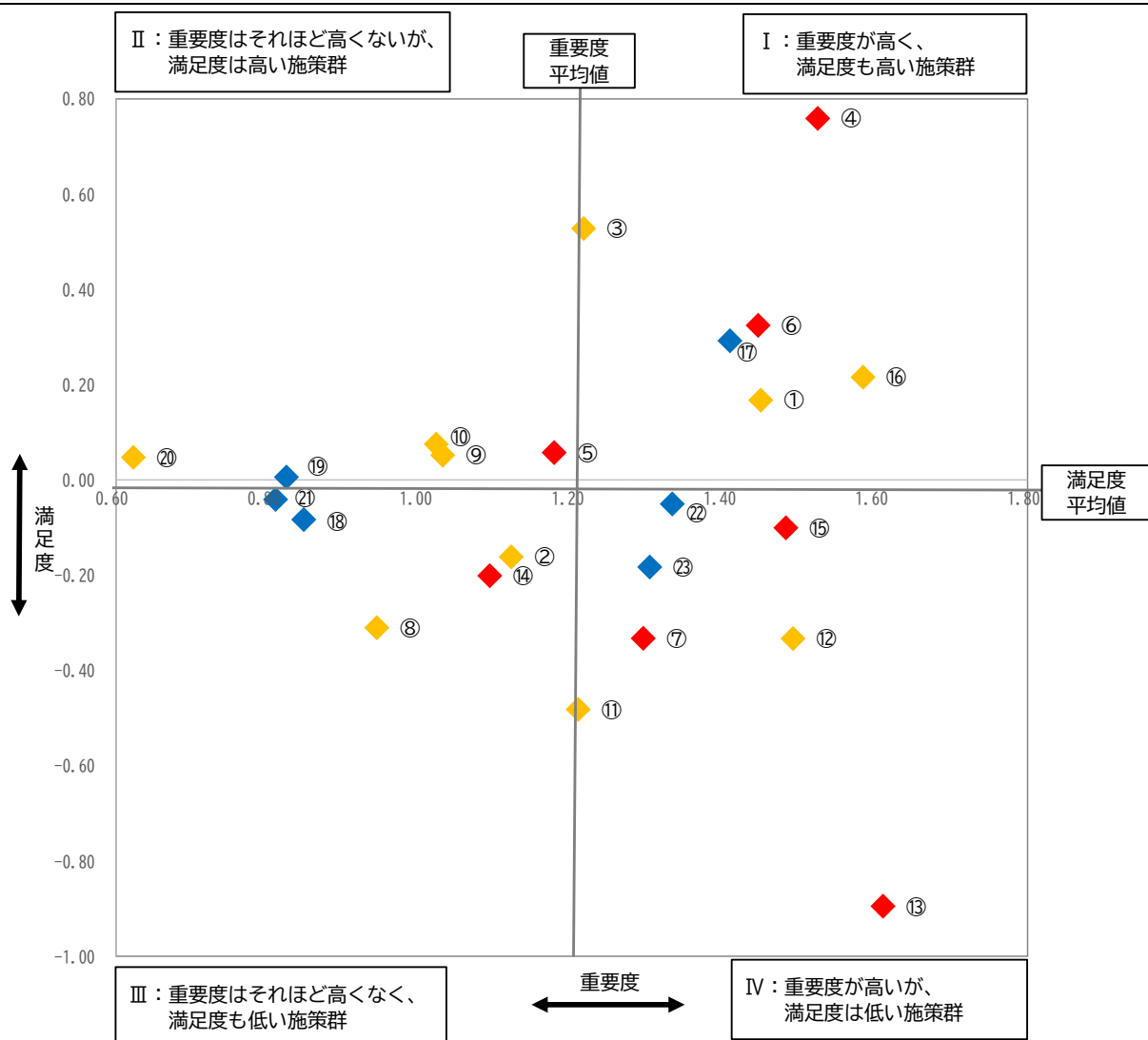
		合計	農業が発展した、自然の恵みにあふれるまち	商業施設が充実し、ショッピングや飲食が楽しめるまち	工業が発展し仕事を得る環境に恵まれたまち	国内外から人が訪れる観光・交流の盛んなまち	無回答
全体		714 100.0	469 65.7	360 50.4	234 32.8	111 15.5	18 2.5
性別	男性	318 100.0	203 63.8	154 48.4	106 33.3	61 19.2	9 2.8
	女性	373 100.0	253 67.8	193 51.7	122 32.7	48 12.9	5 1.3
年代	10・20歳代	56 100.0	37 66.1	36 64.3	11 19.6	7 12.5	0 0.0
	30・40歳代	136 100.0	87 64.0	80 58.8	42 30.9	31 22.8	3 2.2
	50歳以上	514 100.0	344 66.9	242 47.1	180 35.0	71 13.8	10 1.9

■まちづくりの方向性



		合計	豊かな自然環境と人が共存するまち	住宅・公共交通などが整備された通勤通学しやすいまち	歴史や地域の文化・芸術を活かしたまち	空港と共存共栄するまち	無回答
全体		714 100.0	429 60.1	431 60.4	69 9.7	324 45.4	10 1.4
性別	男性	318 100.0	174 54.7	183 57.5	32 10.1	178 56.0	4 1.3
	女性	373 100.0	240 64.3	238 63.8	32 8.6	141 37.8	3 0.8
年代	10・20歳代	56 100.0	30 53.6	45 80.4	8 14.3	12 21.4	0 0.0
	30・40歳代	136 100.0	88 64.7	90 66.2	12 8.8	60 44.1	1 0.7
	50歳以上	514 100.0	309 60.1	293 57.0	48 9.3	249 48.4	6 1.2

【問5】多古町におけるまちづくりの取組の重要度と満足度について、あなたのお考えをお聞かせください。（単数回答）



①	圏央道開通や成田空港機能強化に向けた町の整備や企業誘致の推進	⑬	公共交通の利便性確保、町内外へのアクセス向上
②	民間事業者を活用した地域の活性化	⑭	公園・緑地の整備、森林の維持による美しい景観の形成
③	多古町の知名度・愛着度向上に向けた、町の魅力発信	⑮	上下水道・ゴミ処理・騒音対策等の快適な住宅環境の整備
④	子育て支援、多古町で子育てしたいと思える環境づくり	⑯	災害対策、消防・防犯対策、交通安全対策の推進
⑤	地域に密着した福祉の推進、町民同士の支え合いの推進	⑰	魅力ある幼児教育・学校教育の推進
⑥	健診や運動による健康づくりの推進、安心できる地域医療体制の充実	⑱	生涯を通じて学べる環境の充実
⑦	農業の振興、新規就農者や後継者の育成、流通体制の強化	⑲	郷土愛の醸成やふるさと教育の推進、青少年の健全育成支援
⑧	商工業の振興、創業や事業継承に向けた支援	⑳	地域活動やボランティアの推進による協働のまちづくり、男女共同参画の推進
⑨	多様な観光・交流プログラムの展開、道の駅の魅力向上	㉑	効率的で適正な行政運営の推進・デジタルの活用
⑩	移住・定住支援の推進	㉒	健全で安定的な財政運営の推進
⑪	自然と調和した土地利用の推進、遊休地の活用	㉓	町単独では対応が難しい取組に関する他の自治体との協力の推進
⑫	安全で快適な通行に向けた、道路や橋梁の整備		

※回答者のうち、「どちらともいえない」以外を回答した方の数によって、グラフのマークを色分け。

（回答者が多い←◆◆◆→回答者が少ない）

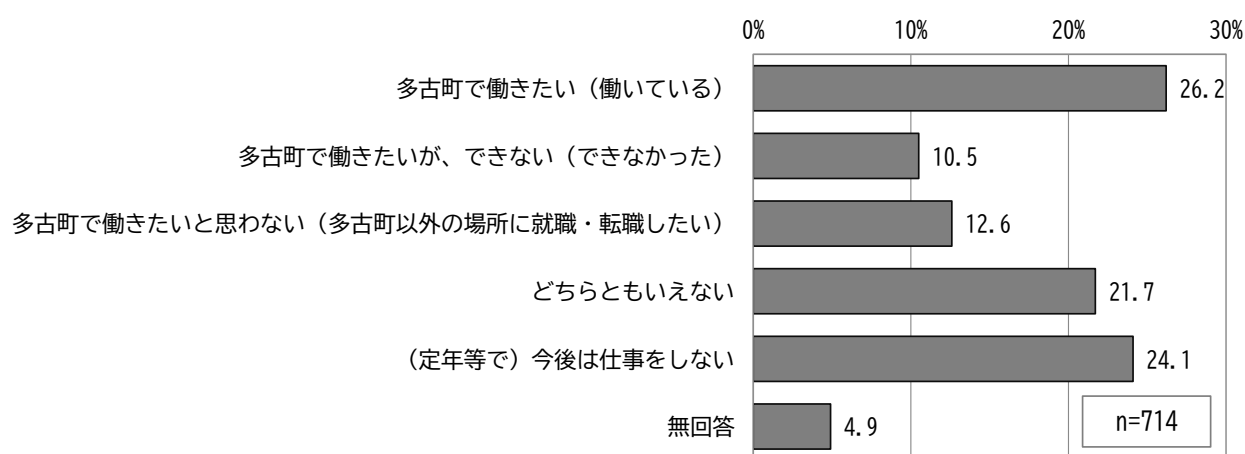
4. 働く場所や環境について

多古町での就労希望について伺うと、26.2%の方が「多古町で働きたい（働いている）」と回答している。一方、『多古町で働くことができない、働きたいと思わない』と回答した方は23.1%となっている。その理由としては「職種の選択肢の少なさ」「報酬の少なさ」「交通の不便さ」が挙げられている。

また、10・20歳代の「多古町で働きたいと思わない（多古町以外の場所に就職・転職したい）」と考える方の割合は39.3%と、全体の12.6%と比べ高くなっている。

成田空港の機能強化による、空港関連の人材募集に関して伺うと、48.5%の方が「興味関心はあるが、働くかどうかは仕事内容による」と回答している。

【問6】あなたは、多古町で働きたいと思いますか。（単数回答）



	合計	多古町で働きたい（働いている）	多古町で働きたいが、できない（できなかった）	多古町で働きたいと思わない（多古町以外の場所に就職・転職したい）	どちらともいえない	（定年等で）今後は仕事をしない	無回答
全体	714 100.0	187 26.2	75 10.5	90 12.6	155 21.7	172 24.1	35 4.9
性別	男性	318 100.0	76 23.9	35 11.0	38 11.9	78 24.5	15 4.7
	女性	373 100.0	103 27.6	39 10.5	48 12.9	70 18.8	18 4.8
年代	10・20歳代	56 100.0	11 19.6	7 12.5	22 39.3	15 26.8	1 1.8
	30・40歳代	136 100.0	37 27.2	24 17.6	36 26.5	34 25.0	4 2.9
	50歳以上	514 100.0	136 26.5	44 8.6	31 6.0	106 20.6	27 5.3
居住地区	多古地区	351 100.0	96 27.4	34 9.7	41 11.7	83 23.6	16 4.6
	久賀地区	126 100.0	39 31.0	12 9.5	19 15.1	23 18.3	9 7.1
	常磐地区	92 100.0	18 19.6	10 10.9	13 14.1	16 17.4	4 4.3
	中地区	135 100.0	31 23.0	19 14.1	16 11.9	30 22.2	4 3.0

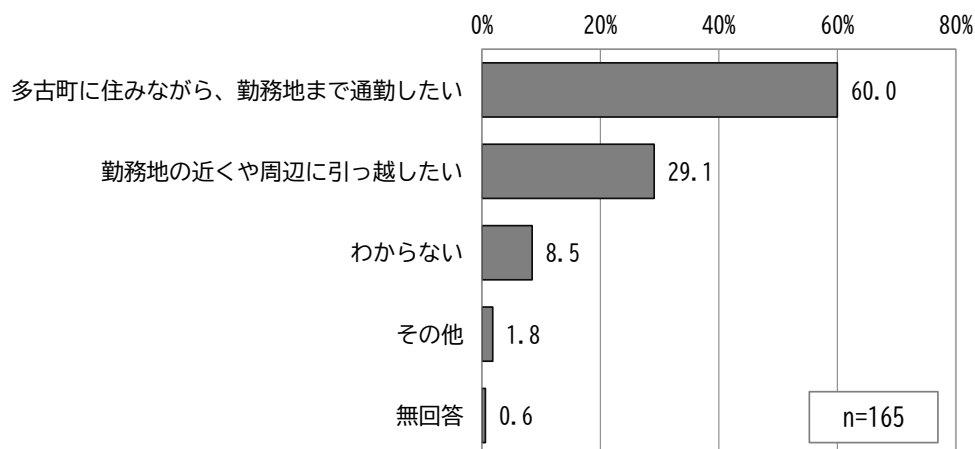
【問6-1】「多古町で働きたいが、出来ない」理由を教えてください。（自由記述）

- ・就職先が少ない為
- ・条件に合う職場がなかった
- ・職種が少なく、また、募集も少ない
- ・条件の良い就職口が無い
- ・選択肢が少なく希望する仕事が無かった
- ・資格をいかせる職場が少なかった
- ・働きたい業態で人員を募集している事業体が町外にしかなかった
- ・自分にあった就労先がない
- ・賃金の安さ
- ・シルバー人材で自分に合う仕事がない
- ・現在体調をくずしているが、体が動くなら高齢者にでもできることをしたい
- ・身体が不自由

【問6-1】「多古町で働きたいと思わない」理由を教えてください。（自由記述）

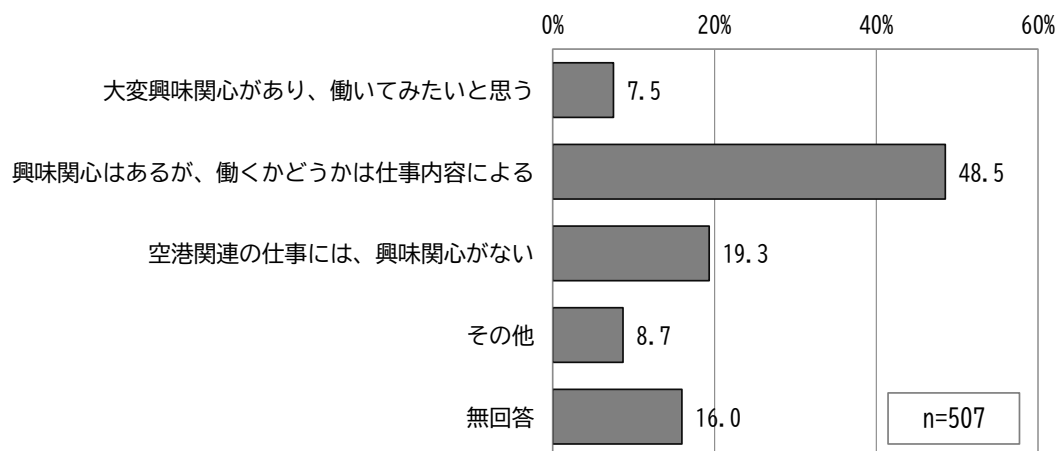
- ・魅力がないから
- ・交通の便が悪いし、働きたいと思える会社がない
- ・仕事終わりの買い物が不便
- ・公共交通機関が不便
- ・自分の経験、スキルが生かせる職種がない
- ・携わりたいことが町外にある
- ・都会に出てキャリアアップや視野を広げたいから
- ・就職の多様性がない
- ・知り合いばかりで働きにくい
- ・賃金が安い
- ・時給が安いので、外へでたほうがよい

【問6-2】多古町以外で働く場合、どこに住むことが理想ですか。(単数回答)【多古町以外で就業(希望)の方限定】



	合計	多古町に住みながら、勤務地まで通勤したい	勤務地の近くや周辺に引っ越したい	わからない	その他	無回答
全体	165 100.0	99 60.0	48 29.1	14 8.5	3 1.8	1 0.6
性別	男性	73 100.0	41 56.2	25 34.2	4 5.5	2 2.7
	女性	87 100.0	55 63.2	23 26.4	9 10.3	0 0.0
年代	10・20歳代	29 100.0	9 31.0	16 55.2	3 10.3	1 3.4
	30・40歳代	60 100.0	38 63.3	17 28.3	5 8.3	0 0.0
	50歳以上	75 100.0	52 69.3	15 20.0	6 8.0	1 1.3
居住地区	多古地区	75 100.0	42 56.0	25 33.3	7 9.3	1 1.3
	久賀地区	31 100.0	14 45.2	10 32.3	6 19.4	0 0.0
	常磐地区	23 100.0	16 69.6	7 30.4	0 0.0	0 0.0
	中地区	35 100.0	27 77.1	6 17.1	1 2.9	1 2.9

【問6-3】成田空港の機能強化による、空港関連の人材募集に関して、関心がありますか。(単数回答)【今後も仕事をする方限定】



		合計	大変興味 関心があり、働い てみたい と思う	興味関心 はある が、働く かどうか は仕事内 容による	空港関連 の仕事に は、興味 関心がない	その他	無回答
全体		507 100.0	38 7.5	246 48.5	98 19.3	44 8.7	81 16.0
性別	男性	227 100.0	21 9.3	113 49.8	45 19.8	16 7.0	32 14.1
	女性	260 100.0	16 6.2	129 49.6	48 18.5	27 10.4	40 15.4
年代	10・20歳代	55 100.0	4 7.3	28 50.9	20 36.4	3 5.5	0 0.0
	30・40歳代	131 100.0	17 13.0	64 48.9	25 19.1	12 9.2	13 9.9
	50歳以上	317 100.0	17 5.4	153 48.3	53 16.7	29 9.1	65 20.5
居住地区	多古地区	254 100.0	25 9.8	120 47.2	50 19.7	21 8.3	38 15.0
	久賀地区	93 100.0	3 3.2	41 44.1	19 20.4	7 7.5	23 24.7
	常磐地区	57 100.0	4 7.0	28 49.1	14 24.6	4 7.0	7 12.3
	中地区	96 100.0	6 6.3	56 58.3	15 15.6	11 11.5	8 8.3

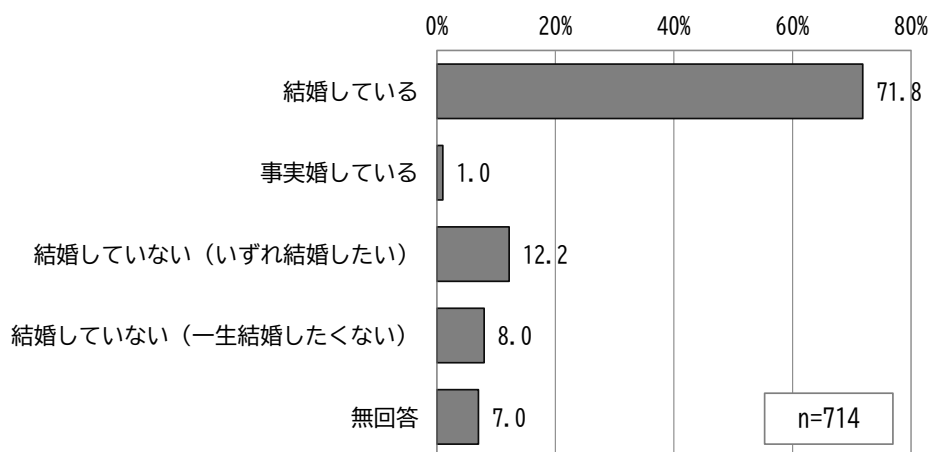
5. 結婚や妊娠・出産・子育てについて

アンケート回答者の婚姻の状況としては、「既婚（事実婚も含む）」が72.8%、「未婚」が20.2%となっている。また、未婚者のうち半数以上が「いずれは結婚したい」と考えている。

充実してほしい結婚支援策について伺うと、「安定した雇用の場の創出」が59.9%と最も高く、次いで「若い夫婦への居住支援」47.9%、「出会いの場の創出」35.2%となっている。また、年齢別にみると10・20歳代では「結婚祝いなどの結婚資金の支援」「若い夫婦への住居支援」がそれぞれ67.9%と最も高くなっており、若い世代の生活基盤の不安がうかがえる。

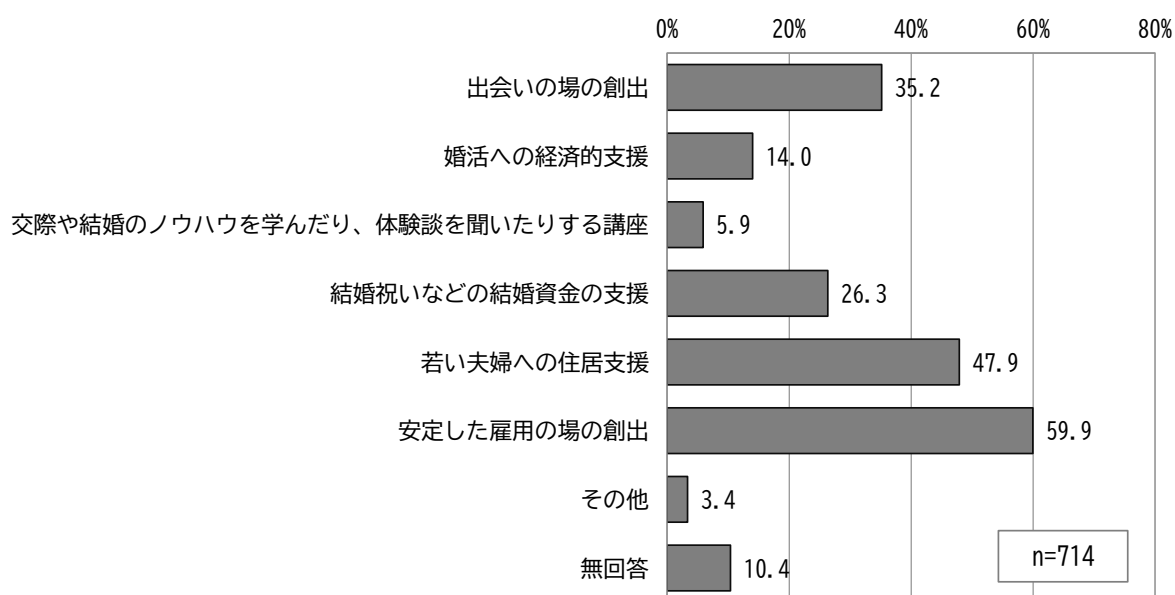
充実してほしい妊娠・出産・子育て支援策について伺うと、「出産費用負担の軽減」「安心して子どもが医療機関を受診できる体制の整備」「こども園（保育所や幼稚園）にかかる費用負担の軽減」が多くなっている。このことから、経済的な助成や医療体制の整備について検討する必要があると考えられる。

【問7】 あなたは、現在、結婚（事実婚も含む）していますか。（単数回答）



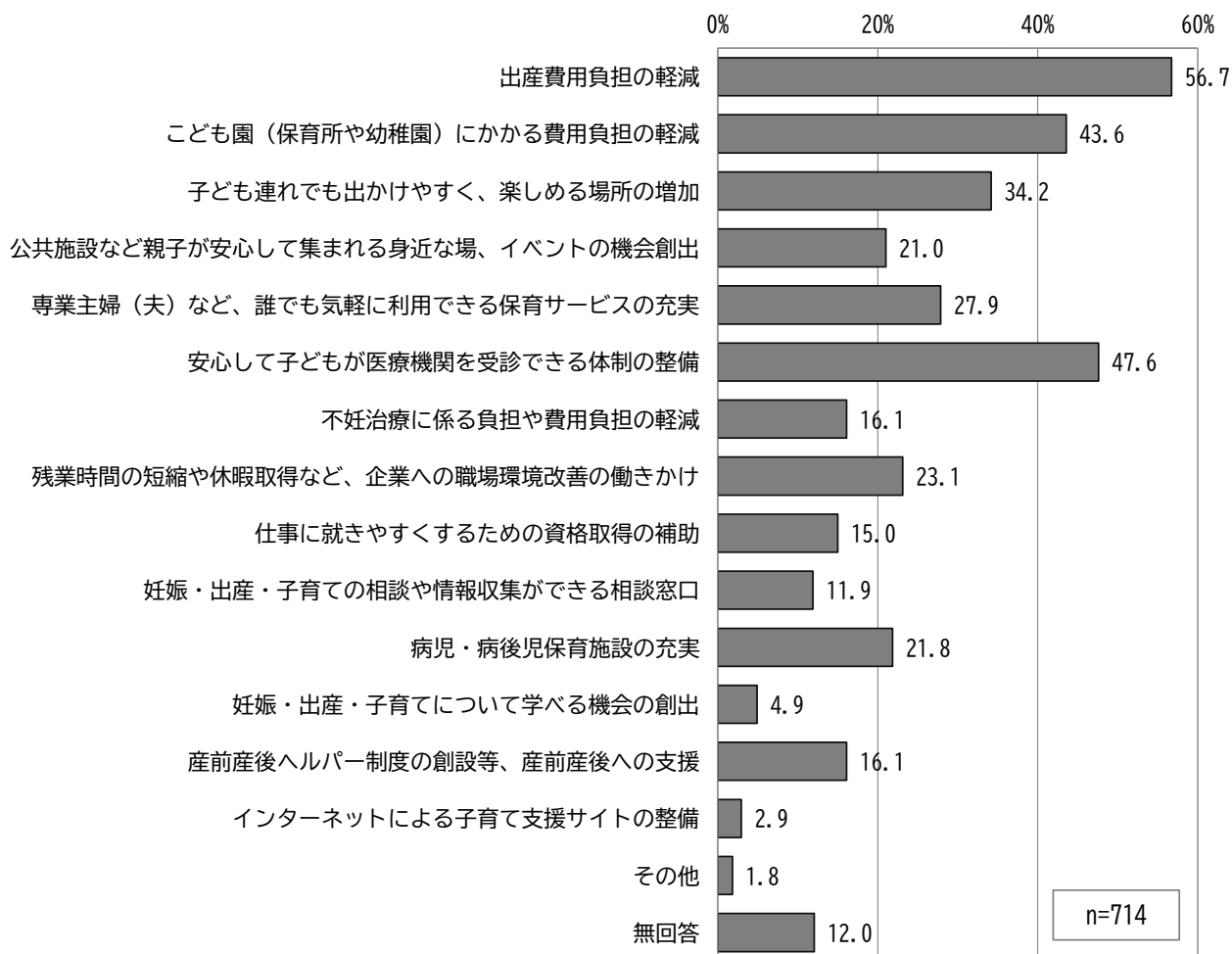
	合計	結婚している	事実婚している	結婚していない (いずれ結婚したい)	結婚していない (一生結婚したくない)	無回答
全体	714 100.0	513 71.8	7 1.0	87 12.2	57 8.0	50 7.0
性別	男性	318 100.0	226 71.1	4 1.3	48 15.1	26 8.2
	女性	373 100.0	273 73.2	3 0.8	37 9.9	28 7.5
年代	10・20歳代	56 100.0	6 10.7	0 0.0	43 76.8	7 12.5
	30・40歳代	136 100.0	94 69.1	3 2.2	25 18.4	13 9.6
	50歳以上	514 100.0	408 79.4	4 0.8	19 3.7	37 7.2

【問8】結婚支援として、どのような支援策の充実を図ってほしいと期待しますか。（複数回答）



	合計	出会いの場の創出	婚活への経済的支援	交際や結婚のノウハウを学んだり、体験談を聞いたりする講座	結婚祝いなどの結婚資金の支援	若い夫婦への住居支援	安定した雇用の場の創出	その他	無回答
全体	714 100.0	251 35.2	100 14.0	42 5.9	188 26.3	342 47.9	428 59.9	24 3.4	74 10.4
性別	男性	318 100.0	120 37.7	60 18.9	23 7.2	81 25.5	166 52.2	180 56.6	12 3.8
	女性	373 100.0	123 33.0	36 9.7	18 4.8	96 25.7	164 44.0	238 63.8	11 2.9
年代	10・20歳代	56 100.0	13 23.2	11 19.6	2 3.6	38 67.9	38 67.9	25 44.6	2 3.6
	30・40歳代	136 100.0	39 28.7	16 11.8	3 2.2	54 39.7	78 57.4	83 61.0	12 8.8
	50歳以上	514 100.0	196 38.1	73 14.2	36 7.0	94 18.3	224 43.6	316 61.5	10 1.9
居住地区	多古地区	351 100.0	113 32.2	58 16.5	15 4.3	95 27.1	172 49.0	209 59.5	9 2.6
	久賀地区	126 100.0	50 39.7	11 8.7	9 7.1	31 24.6	57 45.2	64 50.8	8 6.3
	常磐地区	92 100.0	38 41.3	12 13.0	9 9.8	25 27.2	41 44.6	54 58.7	3 3.3
	中地区	135 100.0	48 35.6	18 13.3	8 5.9	34 25.2	70 51.9	96 71.1	3 2.2

【問9】妊娠・出産・子育てに関して、どのような支援策の充実を図ってほしいと期待しますか。（複数回答）



		合計	出産費用 負担の軽減	こども園 (保育所 や幼稚園) にかかる費用 負担の軽減	子ども連れ でも出かけやす く、楽しめる場所 の増加	公共施設 など親子 が安心して集まれ る身近な 場、イベ ントの機 会創出	専業主婦 (夫)など、誰で も気軽に 利用できる 保育サ ービスの 充実	安心して 子どもが 医療機関 を受診で きる体制 の整備	不妊治療 に係る負 担や費用 負担の軽減	残業時間 の短縮や 休暇取得 など、企 業への職 場環境改 善の働き かけ
全体		714 100.0	405 56.7	311 43.6	244 34.2	150 21.0	199 27.9	340 47.6	115 16.1	165 23.1
性別	男性	318 100.0	203 63.8	145 45.6	104 32.7	74 23.3	85 26.7	155 48.7	46 14.5	71 22.3
	女性	373 100.0	187 50.1	155 41.6	130 34.9	69 18.5	107 28.7	177 47.5	65 17.4	93 24.9
年代	10・20歳代	56 100.0	43 76.8	36 64.3	27 48.2	9 16.1	9 16.1	26 46.4	13 23.2	17 30.4
	30・40歳代	136 100.0	82 60.3	59 43.4	68 50.0	32 23.5	38 27.9	64 47.1	30 22.1	35 25.7
	50歳以上	514 100.0	276 53.7	213 41.4	146 28.4	106 20.6	151 29.4	248 48.2	72 14.0	112 21.8
居住地区	多古地区	351 100.0	200 57.0	148 42.2	112 31.9	74 21.1	95 27.1	155 44.2	64 18.2	85 24.2
	久賀地区	126 100.0	76 60.3	53 42.1	46 36.5	24 19.0	33 26.2	61 48.4	17 13.5	32 25.4
	常磐地区	92 100.0	52 56.5	41 44.6	31 33.7	21 22.8	31 33.7	41 44.6	14 15.2	18 19.6
	中地区	135 100.0	73 54.1	65 48.1	50 37.0	29 21.5	38 28.1	80 59.3	20 14.8	30 22.2

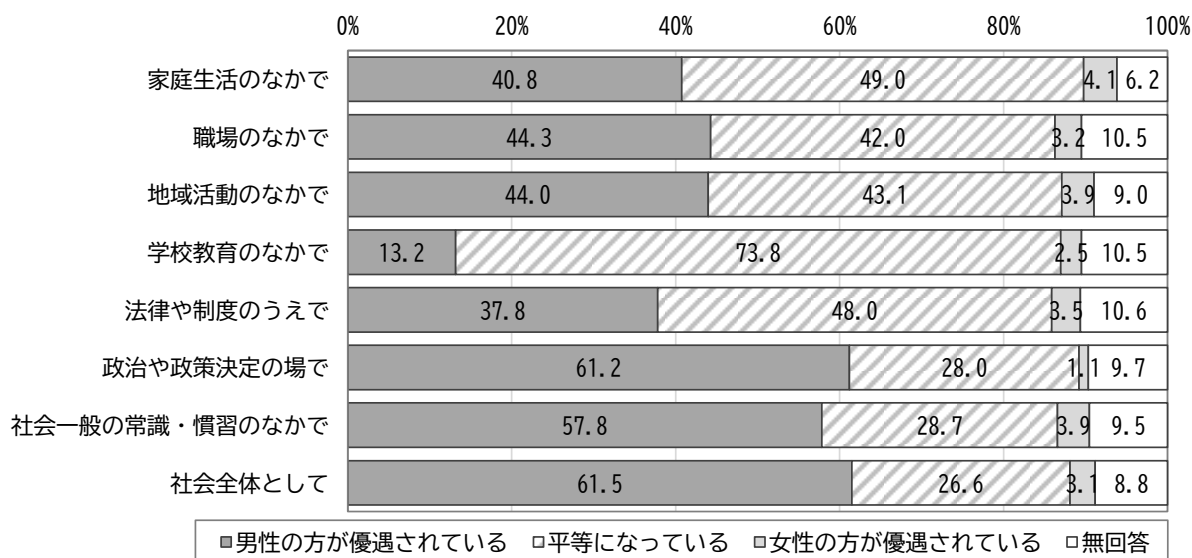
		合計	仕事に就 きやす くする ための 資格取 得の補 助	妊娠・出 産・子育 ての相談 や情報収 集ができ る相談窓 口	病児・病 後児保育 施設の充 実	妊娠・出 産・子育 てについ て学べる 機会の創 出	産前産後 ヘルパー 制度の創 設等、産 前産後へ の支援	インター ネットに よる子育 て支援サ イトの整 備	その他	無回答
全体		714 100.0	107 15.0	85 11.9	156 21.8	35 4.9	115 16.1	21 2.9	13 1.8	86 12.0
性別	男性	318 100.0	47 14.8	44 13.8	66 20.8	20 6.3	29 9.1	13 4.1	6 1.9	36 11.3
	女性	373 100.0	58 15.5	39 10.5	89 23.9	13 3.5	80 21.4	7 1.9	7 1.9	46 12.3
年代	10・20歳代	56 100.0	6 10.7	10 17.9	14 25.0	2 3.6	3 5.4	3 5.4	1 1.8	1 1.8
	30・40歳代	136 100.0	32 23.5	14 10.3	27 19.9	7 5.1	22 16.2	5 3.7	7 5.1	6 4.4
	50歳以上	514 100.0	67 13.0	60 11.7	115 22.4	25 4.9	88 17.1	13 2.5	5 1.0	76 14.8
居住地区	多古地区	351 100.0	57 16.2	46 13.1	82 23.4	13 3.7	56 16.0	11 3.1	6 1.7	43 12.3
	久賀地区	126 100.0	16 12.7	16 12.7	27 21.4	7 5.6	22 17.5	3 2.4	1 0.8	17 13.5
	常磐地区	92 100.0	9 9.8	12 13.0	19 20.7	8 8.7	22 23.9	3 3.3	4 4.3	12 13.0
	中地区	135 100.0	22 16.3	10 7.4	28 20.7	6 4.4	11 8.1	4 3.0	2 1.5	10 7.4

6. 男女共同参画社会について

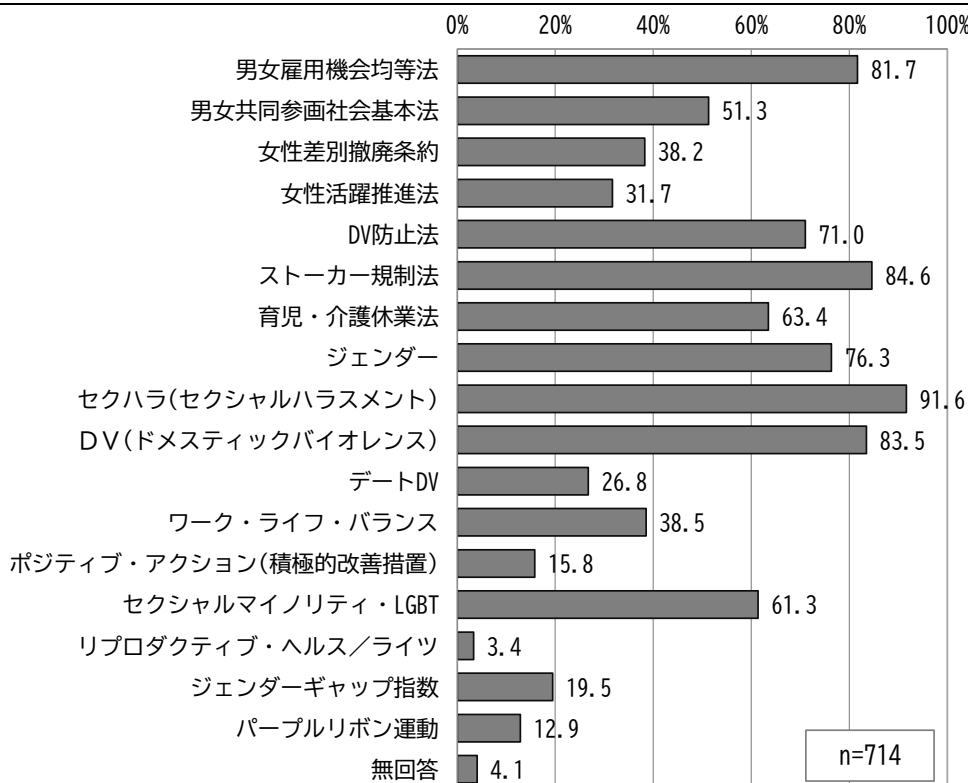
男女平等について、家庭や職場等の様々な状況において平等になっているかを伺うと、「学校教育のなかで」は73.8%、「政治や政策決定の場で」は28.0%の方が平等になっていると回答しており、状況によって差がみられた。「社会全体として」は26.6%の方が平等になっていると思うと回答している。

また、男女平等に関する言葉の認知度では、「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」「パープルリボン運動」の認知度が低いので、今後も引き続き情報発信をしていく必要がある。

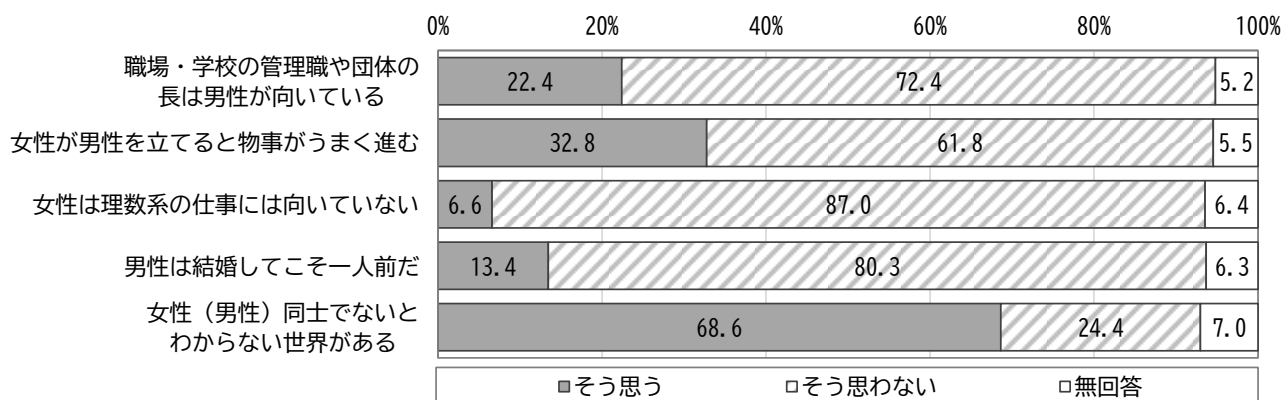
【問10】あなたは、次の項目で男女の地位が平等になっていると思いますか。（単数回答）



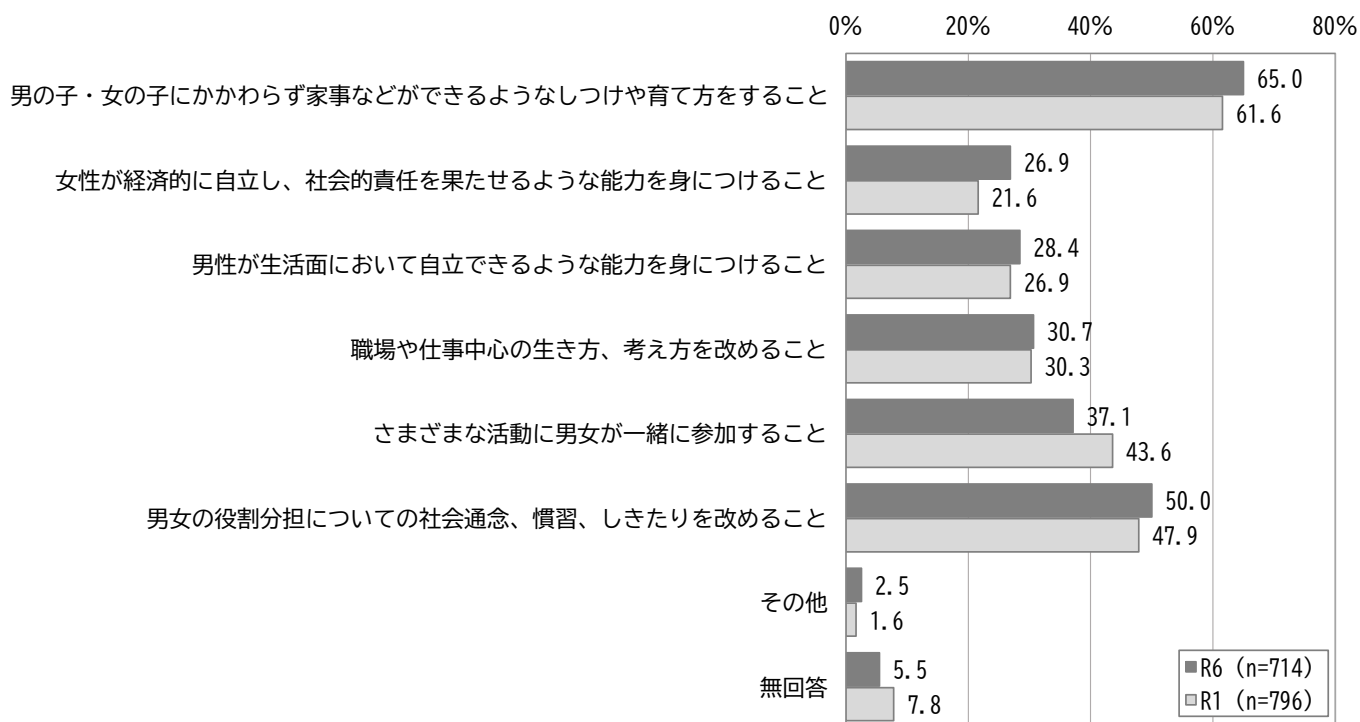
【問11】次のような言葉の中で知っているもの、聞いたことがあるものはどれですか。（複数回答）



【問 12】 職場または学校において、次に挙げるそれぞれについてあなたの考えに最も近いものに○をつけてください。(単数回答)

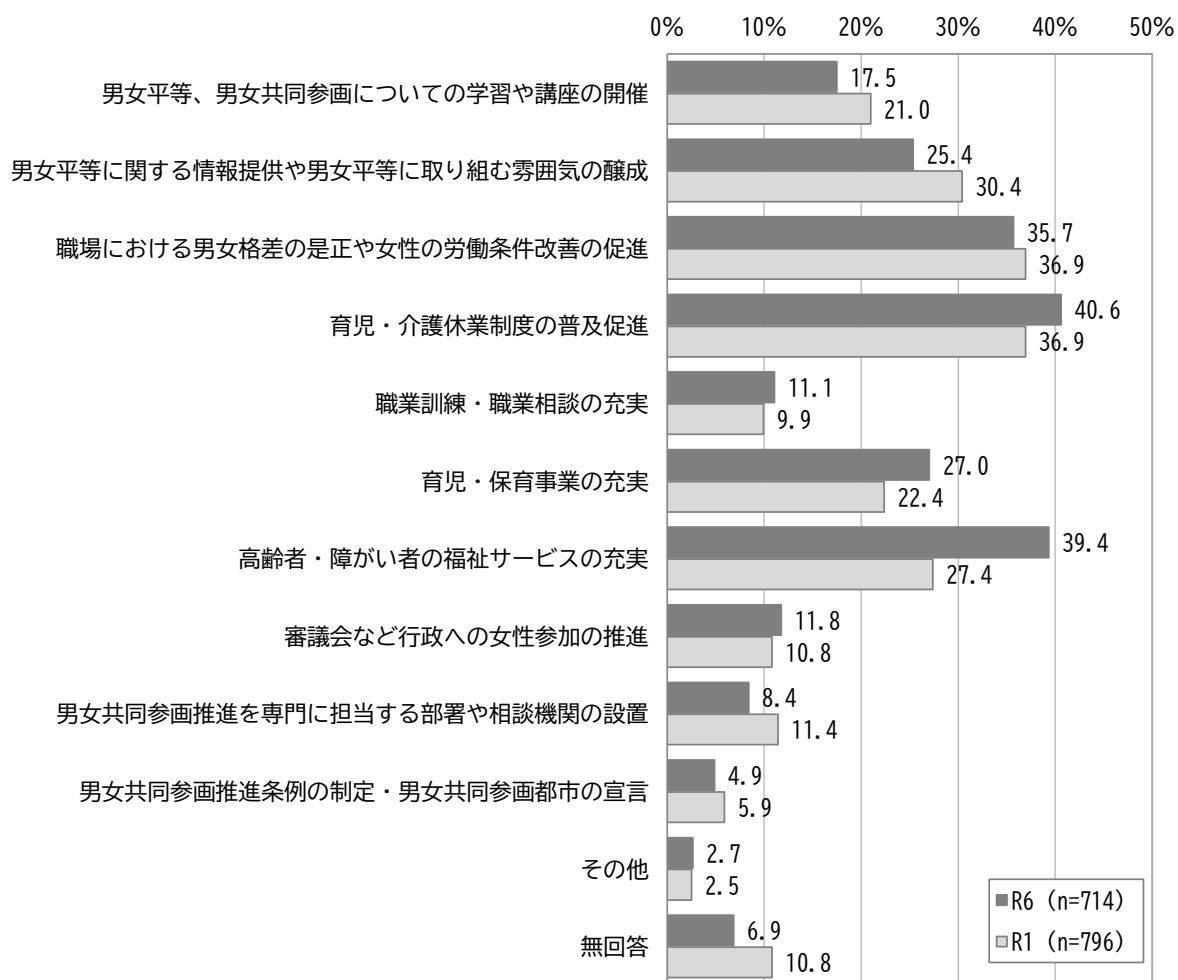


【問 13】 男女がともにあらゆる場面（仕事、家事、育児、介護、地域活動など）に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(複数回答)

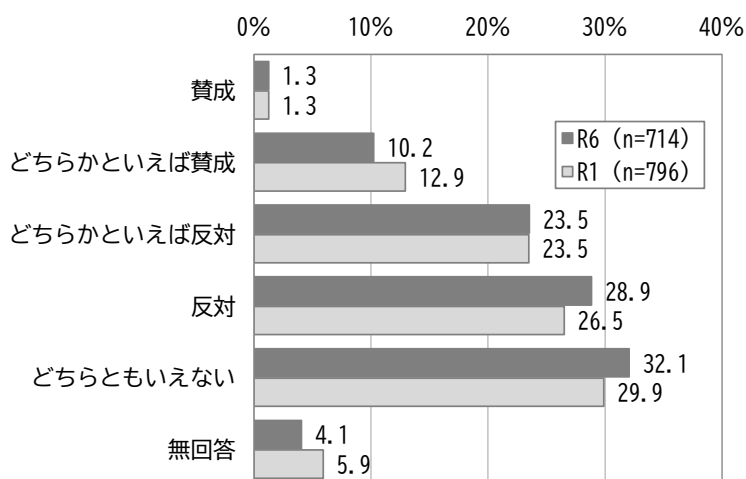


	合計	男の子・女の子にかかわらず家事などができるようなしつけや育て方をすること	女性が経済的に自立し、社会的責任を果たせるような能力を身につけること	男性が生活面において自立できるような能力を身につけること	職場や仕事中心の生き方、考え方を改めること	さまざまな活動に男女が一緒に参加すること	男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改めること	その他	無回答
全体	714 100.0	464 65.0	192 26.9	203 28.4	219 30.7	265 37.1	357 50.0	18 2.5	39 5.5
性別	男性	318 100.0	188 59.1	78 24.5	79 24.8	113 35.5	148 46.5	11 3.5	18 5.7
	女性	373 100.0	267 71.6	111 29.8	118 31.6	98 26.3	121 32.4	5 1.3	16 4.3

【問 14】男女共同参画社会を実現させるために、多古町にどのようなことを期待しますか。あてはまるものを選んで番号に○をつけてください。(複数回答)

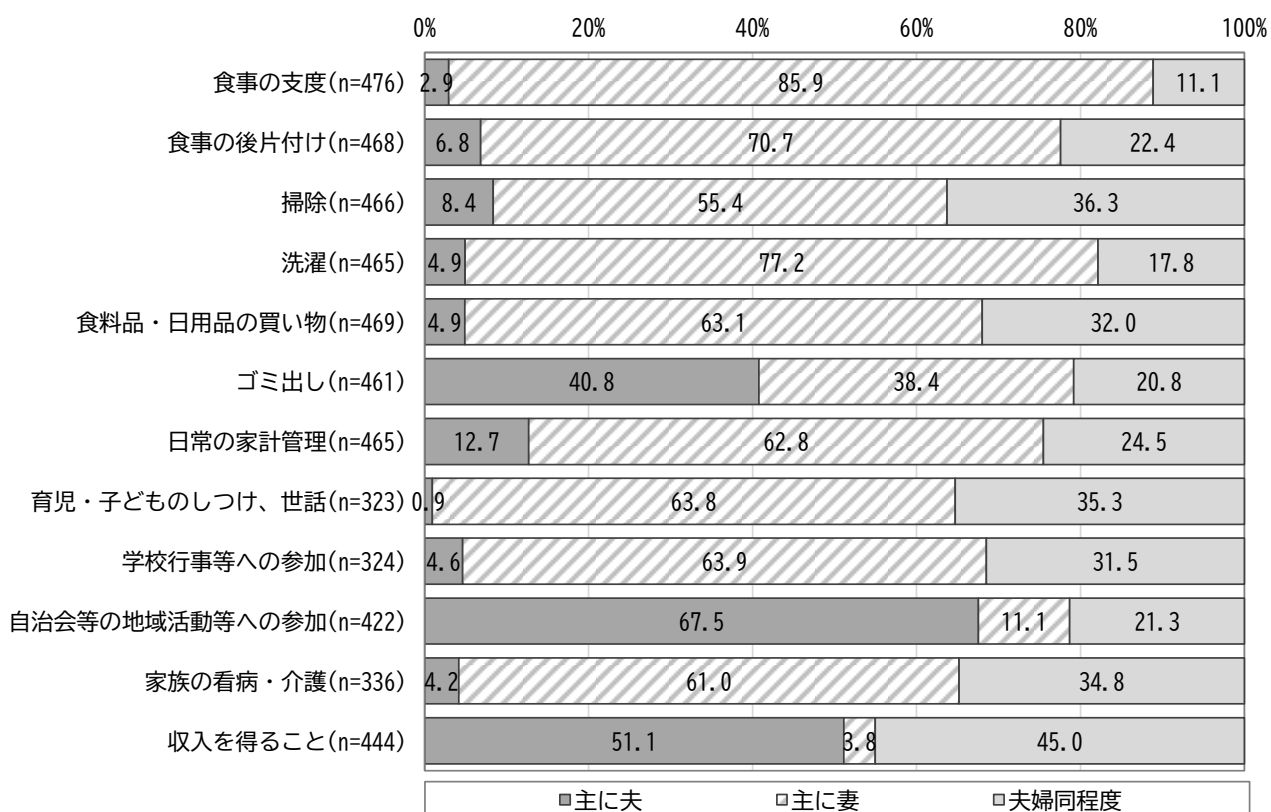


【問 15】男女の役割分担について、「男は仕事、女は家庭」という考え方についてどう思いますか。(単数回答)



	合計	賛成	どちらか といえば 賛成	どちらか といえば 反対	反対	どちらと もいえない	無回答
全体	714 100.0	9 1.3	73 10.2	168 23.5	206 28.9	229 32.1	29 4.1
性別	男性	318 100.0	5 1.6	47 14.8	77 24.2	103 32.4	14 4.4
	女性	373 100.0	4 1.1	23 6.2	87 23.3	127 34.0	121 32.4
年代	10・20歳代	56 100.0	0 0.0	2 3.6	16 28.6	19 33.9	19 33.9
	30・40歳代	136 100.0	5 3.7	14 10.3	22 16.2	48 35.3	45 33.1
	50歳以上	514 100.0	4 0.8	57 11.1	128 24.9	135 26.3	165 32.1

【問 16】 あなたの家では、次にあげる仕事等は、どなたの役割になっていますか。（単数回答）【既婚で同居している方限定】



※ 「その他の男性・女性」「該当しない」「無回答」を除いて再集計

7. 情報発信について

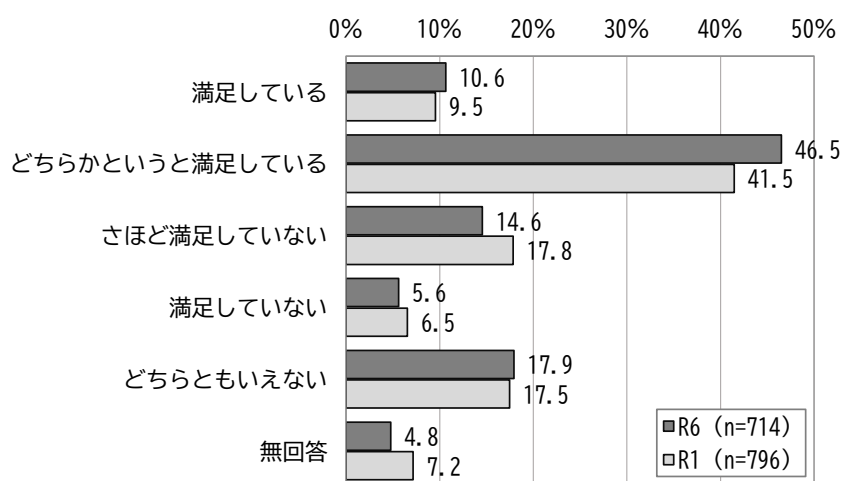
町からの情報発信について『満足している』方は、57.1%と半数以上となっている。

情報発信不足を感じる方が不足していると感じる情報を、全体でみると、「介護や福祉」が最も多くなっている。前回調査では、「町政の動き」が44.3%と最も多かったが、今回調査では27.3%と減少しており、情報発信の効果が高まっていると考えられる。

また、年齢別にみると、10・20歳代では「イベント」、30・40歳代では「子育てや教育」、50歳以上では「介護や福祉」と年齢によって不足していると感じる情報が異なることから、主に対象となる方の年齢や情報の種類に合わせた情報発信媒体を活用することが求められている。

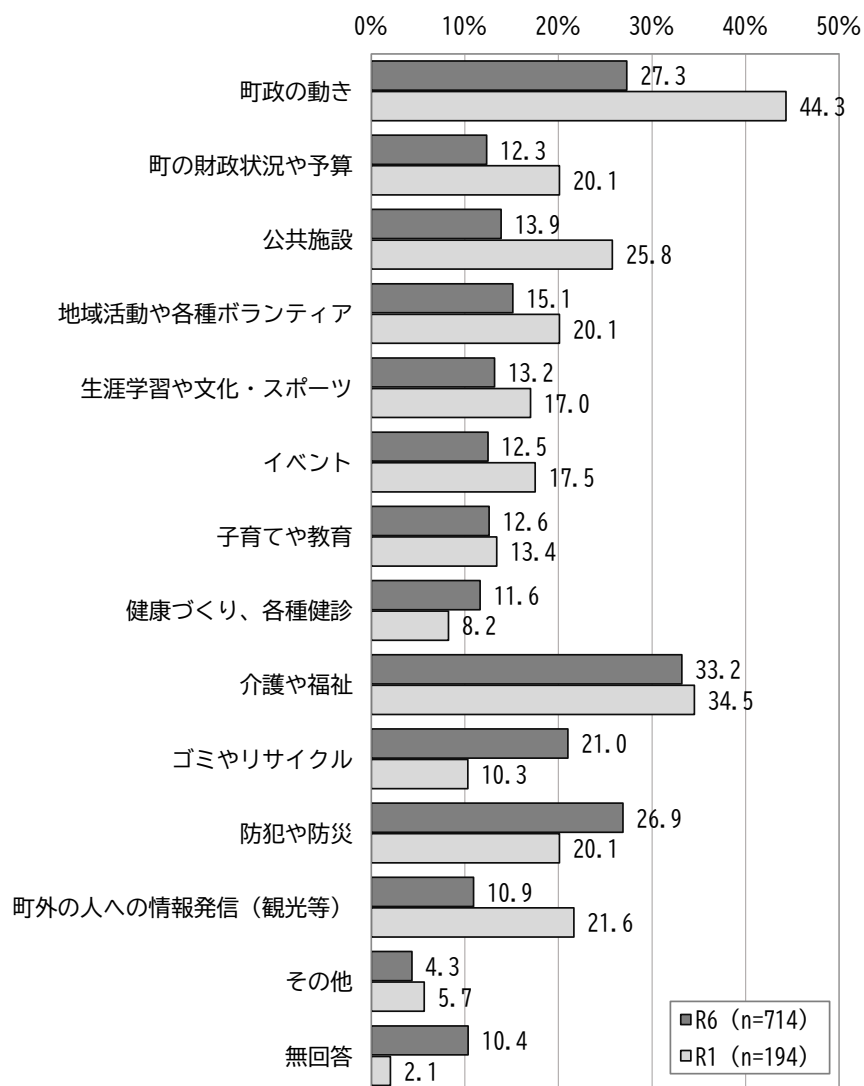
町政への町民の意見は57.1%と半数以上が『反映されている』と回答している。

【問 17】町民に対する町からの情報発信について、どう感じていますか。(単数回答)



	合計	満足している	どちらかという満足している	さほど満足していない	満足していない	どちらともいえない	無回答
全体	714	76	332	104	40	128	34
	100.0	10.6	46.5	14.6	5.6	17.9	4.8
性別							
男性	318	25	150	61	22	47	13
	100.0	7.9	47.2	19.2	6.9	14.8	4.1
女性	373	50	177	40	13	77	16
	100.0	13.4	47.5	10.7	3.5	20.6	4.3
年代							
10・20歳代	56	9	21	10	0	15	1
	100.0	16.1	37.5	17.9	0.0	26.8	1.8
30・40歳代	136	16	61	19	11	27	2
	100.0	11.8	44.9	14.0	8.1	19.9	1.5
50歳以上	514	51	250	73	27	85	28
	100.0	9.9	48.6	14.2	5.3	16.5	5.4

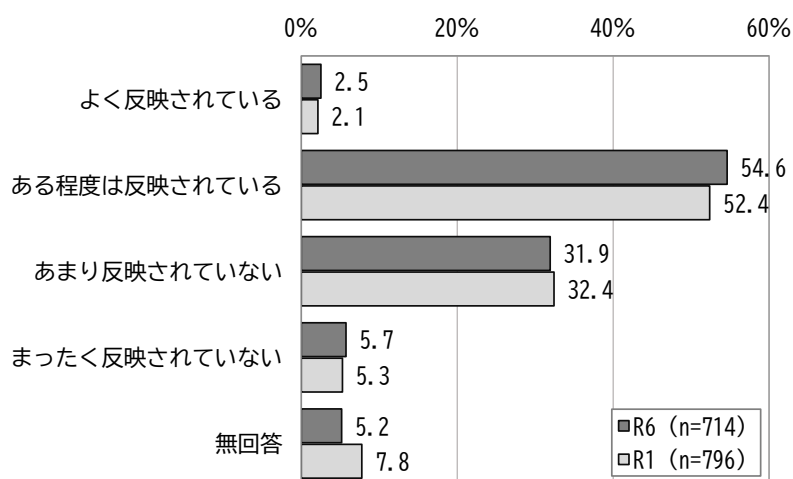
【問 18】町からの情報発信で、不足している・もっと発信してほしいと感じる内容はなんですか。（複数回答）



		合計	町政の動き	町の財政状況や予算	公共施設	地域活動や各種ボランティア	生涯学習や文化・スポーツ	イベント	子育てや教育
全体		714 100.0	195 27.3	88 12.3	99 13.9	108 15.1	94 13.2	89 12.5	90 12.6
性別	男性	318 100.0	114 35.8	57 17.9	41 12.9	49 15.4	47 14.8	45 14.2	43 13.5
	女性	373 100.0	77 20.6	30 8.0	56 15.0	55 14.7	43 11.5	38 10.2	46 12.3
年代	10・20歳代	56 100.0	14 25.0	8 14.3	13 23.2	7 12.5	11 19.6	18 32.1	5 8.9
	30・40歳代	136 100.0	26 19.1	18 13.2	28 20.6	15 11.0	16 11.8	26 19.1	39 28.7
	50歳以上	514 100.0	153 29.8	62 12.1	57 11.1	84 16.3	66 12.8	44 8.6	46 8.9

		合計	健康づくり、各種健診	介護や福祉	ゴミやリサイクル	防犯や防災	町外の人への情報発信（観光等）	その他	無回答
全体		714 100.0	83 11.6	237 33.2	150 21.0	192 26.9	78 10.9	31 4.3	74 10.4
性別	男性	318 100.0	37 11.6	85 26.7	58 18.2	83 26.1	42 13.2	16 5.0	30 9.4
	女性	373 100.0	44 11.8	144 38.6	88 23.6	106 28.4	34 9.1	14 3.8	39 10.5
年代	10・20歳代	56 100.0	5 8.9	5 8.9	8 14.3	11 19.6	8 14.3	3 5.4	5 8.9
	30・40歳代	136 100.0	17 12.5	27 19.9	26 19.1	31 22.8	19 14.0	13 9.6	14 10.3
	50歳以上	514 100.0	61 11.9	203 39.5	114 22.2	149 29.0	51 9.9	14 2.7	52 10.1

【問 19】多古町は町民の声が町政に反映されていると思いますか。(単数回答)



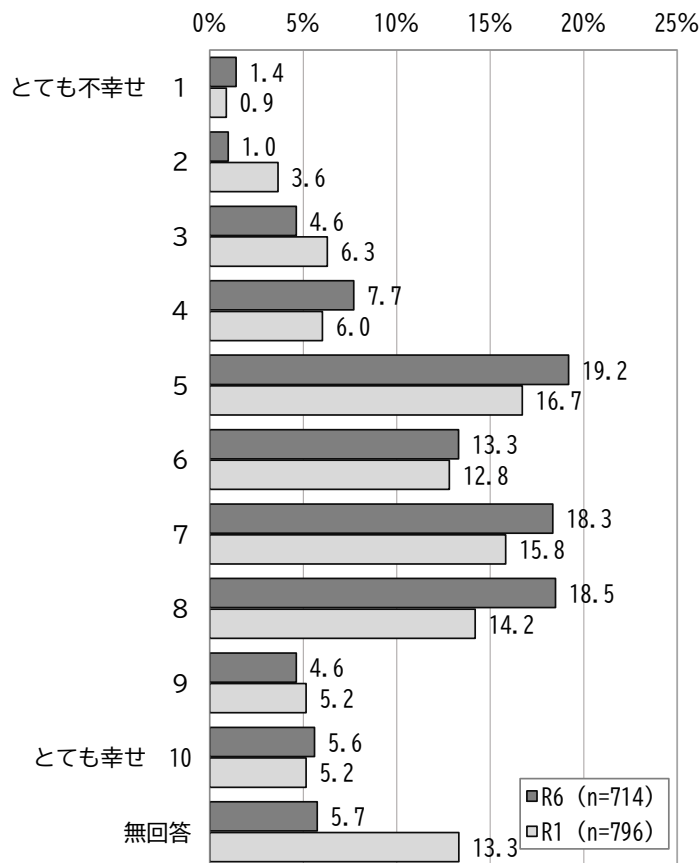
	合計	よく反映 されてい る	ある程度 は反映さ れている	あまり反 映されて いない	まったく 反映され ていない	無回答
全体	714 100.0	18 2.5	390 54.6	228 31.9	41 5.7	37 5.2
性別	男性	318 100.0	9 2.8	167 52.5	109 34.3	21 6.6
	女性	373 100.0	8 2.1	216 57.9	115 30.8	17 4.6
年代	10・20歳代	56 100.0	2 3.6	38 67.9	13 23.2	2 3.6
	30・40歳代	136 100.0	6 4.4	60 44.1	46 33.8	20 14.7
	50歳以上	514 100.0	10 1.9	290 56.4	169 32.9	18 3.5

8. 幸福度（Well-Being）について

回答いただいた方の幸福度についてみると、全体としての平均点は 6.34 点（10 点満点）となった。また年齢別にみると、幸福度平均点は 10・20 歳代で 6.10 点、30・40 歳代で 6.55 点、50 歳以上で 6.31 点、男女別にみると、男性で 6.31 点、女性で 6.38 点となり属性での傾向はあまりみられなかった。

多古町の Well-Being 指標としては、「娯楽施設がある」「やりたい仕事を見つけられる」の項目について、あてはまらないと回答する方が多く、他にも「飲食を楽しめる場所」「公共交通機関での移動」「収入を得られる仕事」「挑戦・成長する機会」について、低い評価となっています。

【問 20】あなたの現在の幸福度をお答えください。（単数回答）



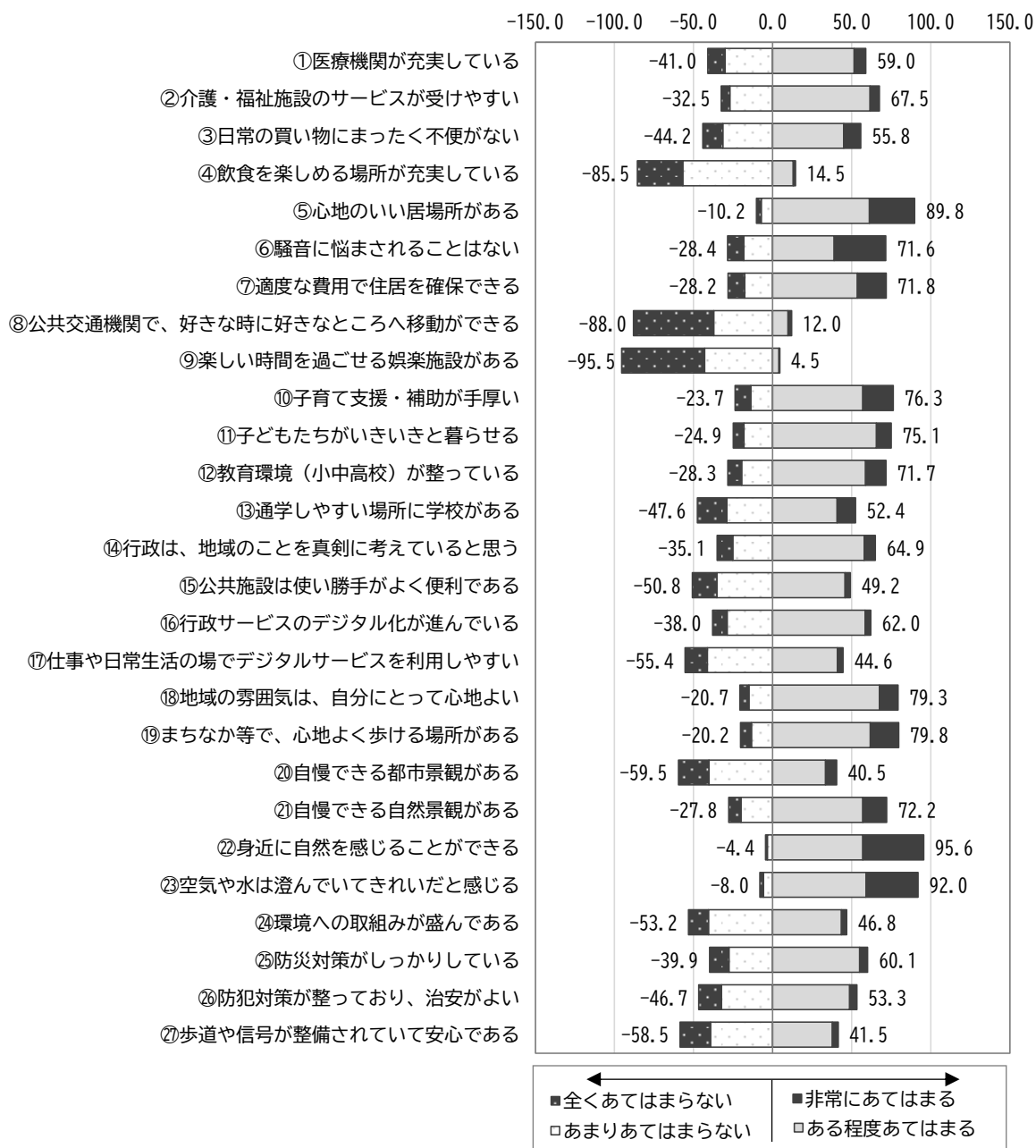
幸福度 平均点		
全体		6.34点
男		6.31点
女		6.38点
10・20歳代		6.10点
30・40歳代		6.55点
50歳以上		6.31点
幸福度 平均点 詳細		
男	10・20歳代	6.16点
	30・40歳代	6.59点
	50歳以上	6.25点
女	10・20歳代	6.04点
	30・40歳代	6.54点
	50歳以上	6.37点

（前回）

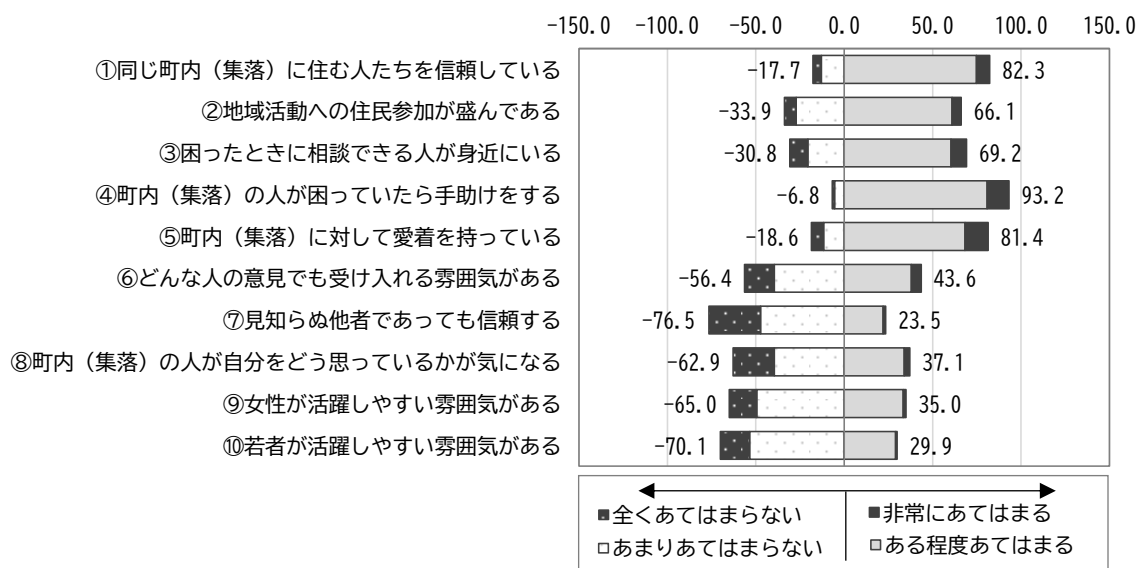
幸福度 平均点		
全体		6.16点
男		5.80点
女		6.46点
10・20歳代		5.61点
30・40歳代		5.85点
50歳以上		6.32点
幸福度 平均点 詳細		
男	10・20歳代	5.45点
	30・40歳代	5.08点
	50歳以上	6.06点
女	10・20歳代	5.76点
	30・40歳代	6.35点
	50歳以上	6.59点

【問 21】多古町に関する次の項目について、あなたのお考えに最も当てはまるものについてお答えください。（単数回答）

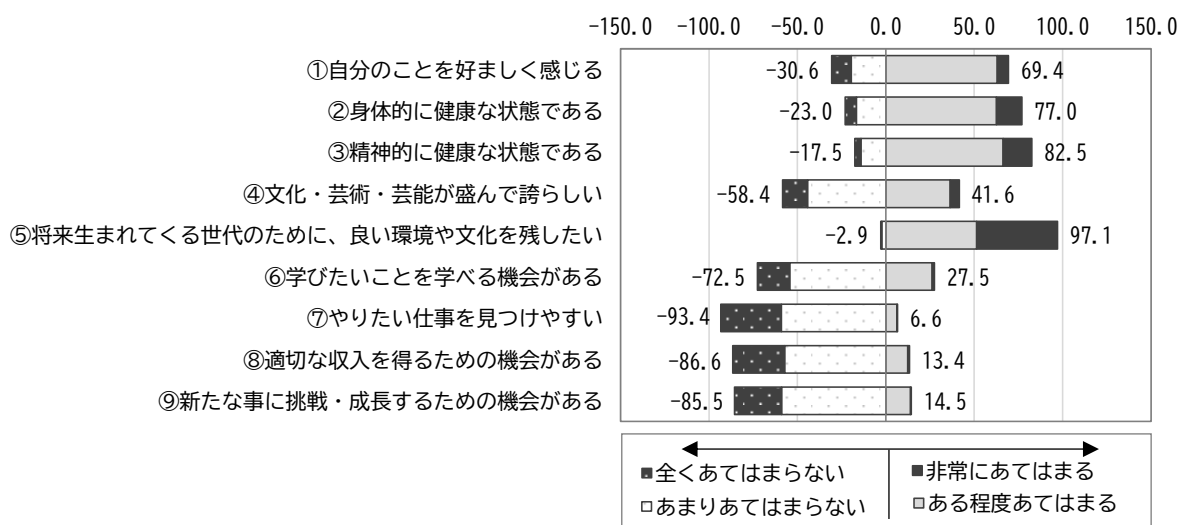
●生活環境



●地域の人間関係



●自分らしい生き方



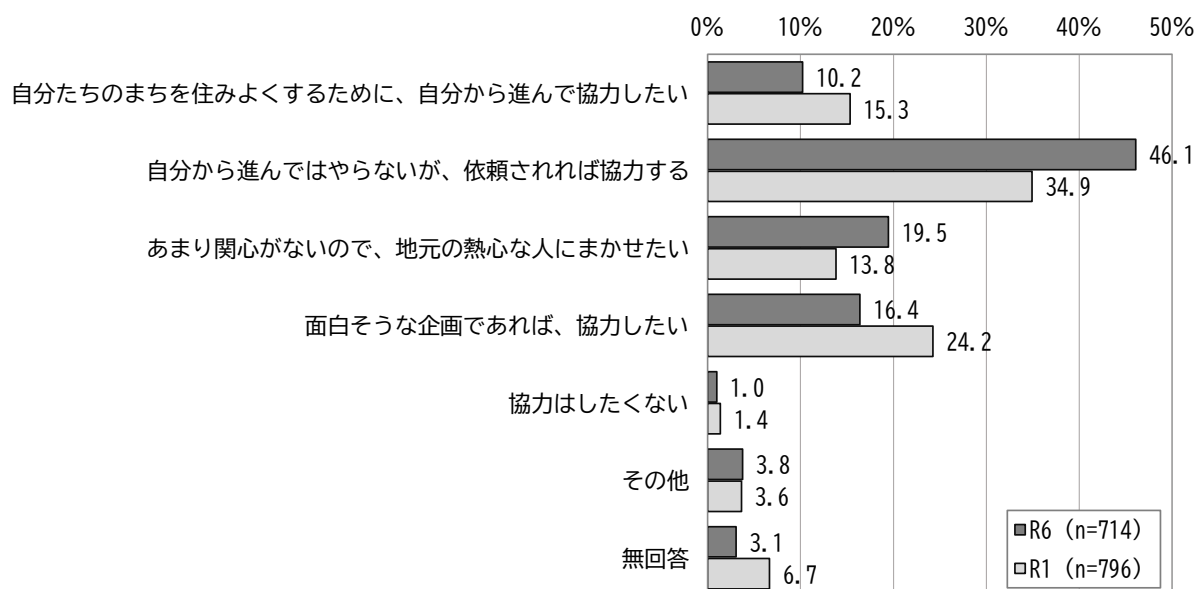
9. まちづくり全般について

今後のまちづくりについて、参加意思・希望について伺うと、「自分から進んではやらないが、申し込まれれば協力する」が最も多くなっているため、まちづくりへの参画の推進のためには積極的な働きかけが重要であることがみてとれる。

また、DXを推進すべき分野について伺うと、10・20歳代で「教育、文化・生涯学習」「防災、防犯」、30・40歳代で「福祉、子育て関係」、50歳以上で「防災、防犯」が最も高くなっている。

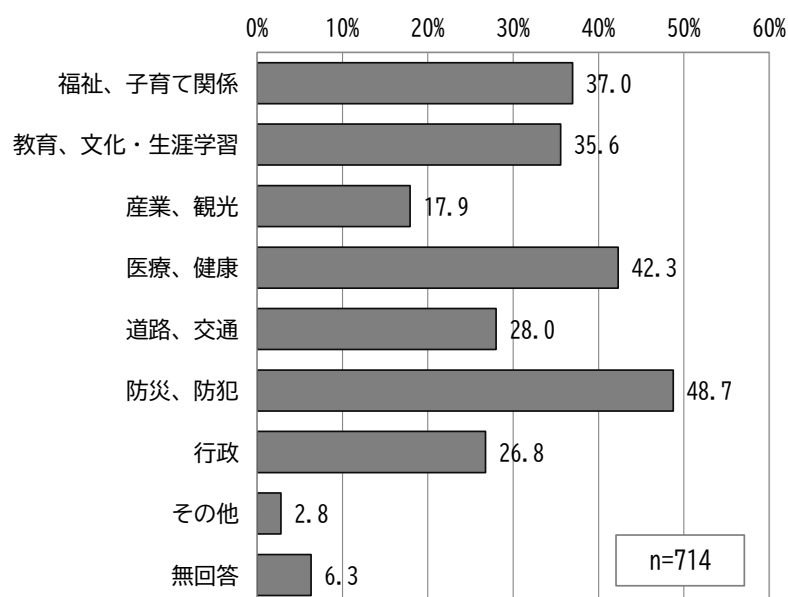
自由記述でまちづくりのためのアイデアやご意見を伺うと、最も多かった意見は「交通利便性の向上」となっているが、「子ども・子育て支援の強化」「農業の振興」等、様々なアイデアの記述をいただいた。

【問 22】多古町では、町民のみなさまと一緒により良いまちづくりをしていきたいと考えていますが、これには町民のみなさまの協力が是非とも必要です。あなたはこのことについてどうお考えですか。（単数回答）



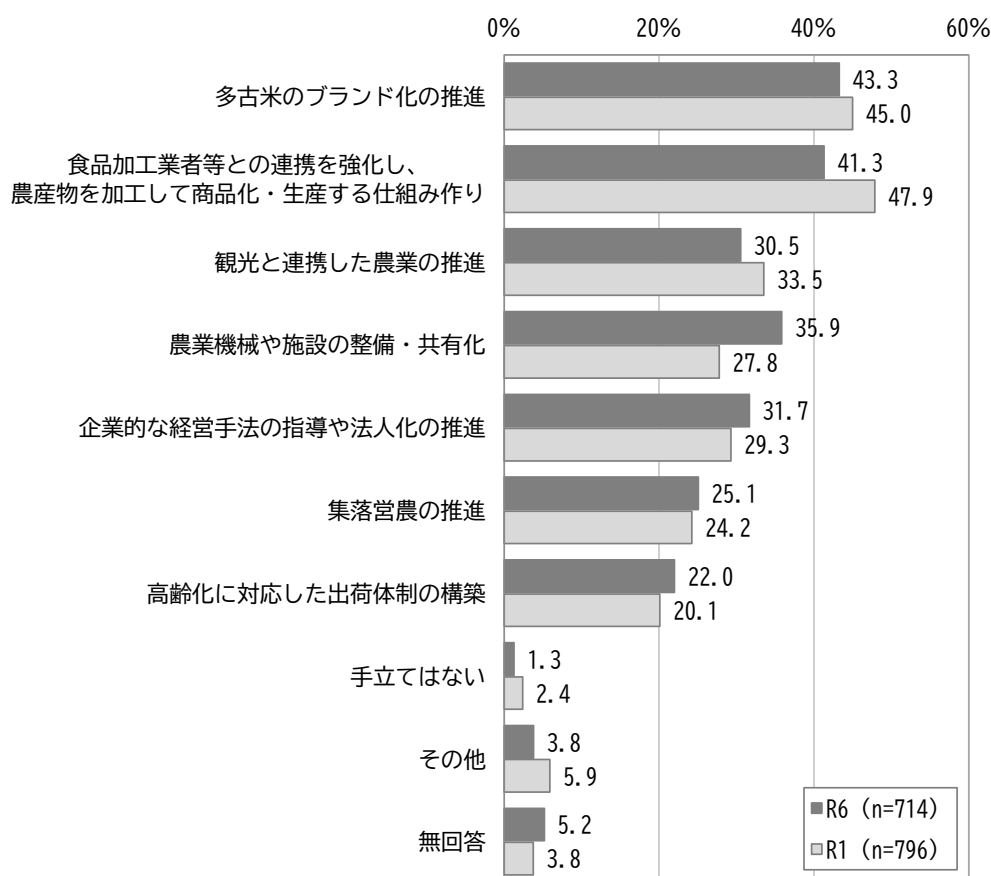
	合計	自分たちのまちを住みよくするために、自分から進んで協力したい	自分から進んではやらないが、依頼されれば協力する	あまり関心がないので、地元の熱心な人にまかせたい	面白そうな企画であれば、協力したい	協力はしたくない	その他	無回答
全体	714 100.0	73 10.2	329 46.1	139 19.5	117 16.4	7 1.0	27 3.8	22 3.1
性別	男性	318 100.0	42 13.2	145 45.6	60 18.9	50 15.7	3 0.9	12 3.8
	女性	373 100.0	29 7.8	176 47.2	78 20.9	61 16.4	4 1.1	12 3.2
年代	10・20歳代	56 100.0	6 10.7	17 30.4	15 26.8	14 25.0	2 3.6	1 1.8
	30・40歳代	136 100.0	23 16.9	53 39.0	22 16.2	29 21.3	3 2.2	4 2.9
	50歳以上	514 100.0	43 8.4	258 50.2	102 19.8	72 14.0	2 0.4	21 4.1

【問 23】 近年、ＩＣＴやデジタル技術の活用が進められています。あなたは、どの分野でインターネットやＩＣＴを用いた取組やＤＸの推進がなされるべきだと思いますか。（複数回答）



	合計	福祉、子育て関係	教育、文化・生涯学習	産業、観光	医療、健康	道路、交通	防災、防犯	行政	その他	無回答
全体	714 100.0	264 37.0	254 35.6	128 17.9	302 42.3	200 28.0	348 48.7	191 26.8	20 2.8	45 6.3
性別	男性	318 100.0	119 37.4	121 38.1	64 20.1	138 43.4	83 26.1	149 46.9	107 33.6	6 1.9
	女性	373 100.0	136 36.5	126 33.8	60 16.1	156 41.8	112 30.0	193 51.7	79 21.2	13 3.5
年代	10・20歳代	56 100.0	19 33.9	26 46.4	12 21.4	22 39.3	20 35.7	26 46.4	17 30.4	0 0.0
	30・40歳代	136 100.0	63 46.3	42 30.9	28 20.6	55 40.4	36 26.5	55 40.4	57 41.9	6 4.4
	50歳以上	514 100.0	180 35.0	182 35.4	86 16.7	223 43.4	144 28.0	264 51.4	115 22.4	37 7.2

【問 24】多古町は「農業」を中心に発展してきた歴史を持つまちですが、近年では農業従事者の高齢化や農産物の価格低下により、担い手不足が深刻化しています。町民として、多古町の農業を元気にしていくには特にどうしたらいいと思いますか。（複数回答）



【問 25】多古町が、より住みやすく愛されるまちになるための行政への要望やご意見、地域活性化のアイデアなどをご記入ください。（自由記述）

281 人の方から 503 件のご意見をいただいた。主な意見内容と件数は以下の通りです。

主な意見	件数
交通利便性の向上	77 件
コミュニティバスの復活	
中高生や車を所持していない人が町の中心まで行く手段がない	
鉄道の駅	
シャトルバスの増便	
デマンドタクシーについて、運行範囲が町内と限られている。別料金の支払い、範囲設定等の上の検討をお願いしたい。	
デマンドタクシーを何台かふやしていただきたい	
子ども・子育て支援の強化	41 件
多古町はとても住みやすい町だと思う。特に子育て世代にとっては、充実していると思う。	
町内で遊ぶ場所が少なく、子供の習い事できるところもほぼないのが残念	
町にある男性トイレにも子どものおむつ交換台や個室 1 つでいいから子どもと座れるイス等を出来る限り設置していただきたい	
この町でうまれ育ち、一度町を離れた若者がもどってきて、子育てしやすい環境を作る方がよいと思う	
高齢者福祉の充実	40 件
高齢者家族や一人暮らし（高齢者の）世帯へ、日常生活でできない事への支援がほしい	
介護施設を増やしてほしい	
在宅介護の充実を望む	
高齢者がいきいき生活できるよう、それをサポートするための指導者を育てる予算を検討してほしい	
商業施設の充実	37 件
飲食店などを増やしてほしい	
大型の雑貨屋とか、デパートなどの複合施設や食べ物やとかがあれば町内だけでなく近隣の町からも人が来ると思う	
移動スーパーが近くにこなくなって困っている	
農業の振興	25 件
多古米のブランド化の推進	
多古町の農業がもっと若い人にとって魅力的に感じるような仕組みづくりが必要だと思う	
農業の後継者不足が深刻。多古米を作る人も減っている。機械、設備を共有化して共同で取り組むことを推進していければと思う。	

公共施設の充実	23 件
町民体育館等にジムを作って、町民の健康の推進、病気の予防に努めているようにしてほしい	
図書館について、いろいろ分野の書籍を増刊し、内容を充実させてほしい	
町民が利用しやすい公園（子供だけでなく老人も）が欲しい	
雇用・就労の充実	22 件
企業の誘致をお願いしたい	
若者が希望をもって働ける場所の確保が定住の絶対条件だと思う	
町政へのご意見	21 件
役場の業務が日曜、祭日でも、月に2日程行ってほしい	
町の町民に対する行政の動きがない	
日頃から行政と町民のコミュニケーションが必要だと思う	
近年、公務員は地方、国家問わず、減少傾向にあると思う。業務について熱心なのは良いことではあるが、職員の健康があつての行政サービスだと思うので、悩んでいる職員や体調不良の職員がいたら、少しでも良いので、声かけをしていただければと思う	
災害対策・安全安心のまちづくり	21 件
災害に強い町作りをお願いしたい	
各地区、もしくは、小学校、中学校に、防犯カメラをつけて欲しい	
つつじが丘住宅団地に面している手入れしていない杉林が危険	
夜間照明の充実	
医療の充実	20 件
耳鼻科、皮膚科、眼科、産婦人科がほしい	
夜中、休日など急病の時、すぐ診察してもらえる病院があると安心	
道路の維持・整備	16 件
近年、県道、町道の整備が不十分で、歩道等も通学している学生等が草、木をよけながら歩いたり自転車で通学している姿を多く見る。又、車道もセンターライン等が消えていて危険な箇所もあるので、県への要望等しっかりしてほしい。	
歩道がないところがほとんどなのに、小学生が歩いて登下校しているのが非常に危ない	
空き家・土地の活用	12 件
農村の住宅や宅地の活用を考えて仕事してくれる企業などと、その内容を話し合ったり、共有したりして、空家、空き地への対策を進めてはどうか	
空家も目立ってきて、対策（有効活用等）、施策を考えてもらいたい	
内外へのPR・情報発信	11 件
SNSで常識的な情報発信ができる著名人に町民になってもらう	
テレビで多古町の事が取り上げられ嬉しい	
もっと海外へPRしてもよいような気がする	

居住地の整備	11 件
移住で住める家の選択肢が少ないので、すみやかにこれらの開発をすすめることがのぞまれる	
子育て世帯が住める町営の住宅が増える	
成田空港の活用	11 件
成田空港の拡張をもっと町に生かしてもらいたい	
成田空港を上手に利用して都会に近い田舎暮らしができる町にして欲しい	
外国人に対する取組	10 件
新たに転入してきた外国籍の方々との交流する機関が限られていることは地域の課題だと思う	
最近が多古町にも外国人が急増している。日本語も通じず、集団を作り、日本に馴染む気もないように感じる。	
日本語のわきに英語表記があれば親切だと思う	
道の駅の充実	9 件
道の駅に商品が少なすぎる。米と花しかめだたない。他の道の駅は魅力がある。	
道の駅で片隅に追いやられているたまこさんグッズを目立つ場所に配置し、もっとアピールする工夫がほしい	
自然を活かしたまちづくり	8 件
ホテルではない、体験型住宅で他地域から自然を体感してもらいたい	
自然をいかして遊びや体験ができる牧場のような施設を造るのも良いのでは	
イベント等の開催	7 件
せっかくバスターミナルもあるので、年に何回かバスツアー日帰りがあれば楽しいと思う	
多古町の自然を利用したアウトドア系のイベント	
若い人たちが交流できるイベントも考えて欲しい	
環境保全	7 件
多古町でも太陽光パネルを多く見かける。太陽光パネルは景観を損なうだけでなく、土砂災害などの不安もある。	
夜間や早朝などに野焼きをされると、通報しても役場では対応してもらえないのでそこが残念	
景観の整備	4 件
空と田んぼの美しさに感動した	
道路沿いにひまわりやコスモスの花が咲いているのをみると、ほっとするので、もう少し増やしてほしいと思う	
風習の見直し	3 件
代々続いてる風習を改めないと古い街には住む人がいなくなってしまうと思う	
結婚支援	3 件
婚活の場を充実なり支援していただけると、もう少し若い世代が増えるのではないかな	

その他のまちづくりアイデア	16 件
成田空港が近いため、英語など外国語教育に力を入れるとか、スポーツ（特にゴルフ）に特化した学校を作るとか、少数精鋭で全国に知れ渡るような教育を進めて行けば、子供のために多古町に住みたいと考えて頂けるようになると思う	
多古町にもともとある文化や建物をもう一度活かす取り組みもあっていいのか	
町全体のデザインを考えた方が良い	
感動した事等、募集してみてもどうか	
その他のご意見	48 件
若者が交流できる場や環境をふやしてほしい	
買い物代理業者	
自治会の活動についての不満を持っている人が多く感じる	
多古町の皆様はとてもあたたかく、新参加者にも親切で優しい	
排水溝、水道管の整備に力を入れていただきたい	